

TOHOKU AKINDO DESIGN | 2017 | SUMMER

とうほく あきんど でざいん 2017 夏

縁の下・水面下・滲み出る

SPECIAL FEATURE →→→

仙客万来

人をつなぎ場を創る
そして仙台の文化へ

東北に生きる人と、かたち

仙台市だって悩んでいます。

外国人の視点から、地域と出会う
MEET THE NEW LOCAL

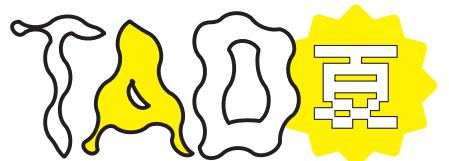
SERIES → カサマのマサカ | 広告×フィクション | 雑草からパクチー



TOHOKU AKINDO DESIGN
2017 SUMMER

とうほく あきんど でざいん
2017 夏

とうほく あきんど でざいん
然



TOHOKU AKINDO DESIGN | 2017 | SUMMER | CONTENTS
とうほく あきんど でざいん 2017夏 | 目次

TAD GALLERY	46
夏・秋の運勢 ROSEBUD TAROT READING	58
僕が住む村 ボクジュー村	56
協働クリエイター略歴	60

61	55	54	52	48	28	02
他人のふんどじで相撲をとる	風と花と	雑草からバクチー	広告とフィクション	東北の力いぶ	カサマのマサカ	東北に生きる人と、かたち
コノケンジのお買い物	僕が住む村 ボクジュー村	協働クリエイター略歴	夏・秋の運勢 ROSEBUD TAROT READING	56	60	46

とうほく あきんど でざいん 2017夏

2017年8月 発行

編著者=とうほくあきんどでざいん塾
〒984-8651 仙台市若林区卸町2-15-2 卸町会館5F TRUNK内/<http://tohokuakindodesign.jp/>
とうほくあきんどでざいん塾=コーディネーター:長内綾子/松井健太郎|アシスタント:深村千夏
発行人=仙台市経済局産業振興課/協同組合仙台卸商センター

©2017 Tohoku Akindo Design Juku. Published in Japan All rights reserved.

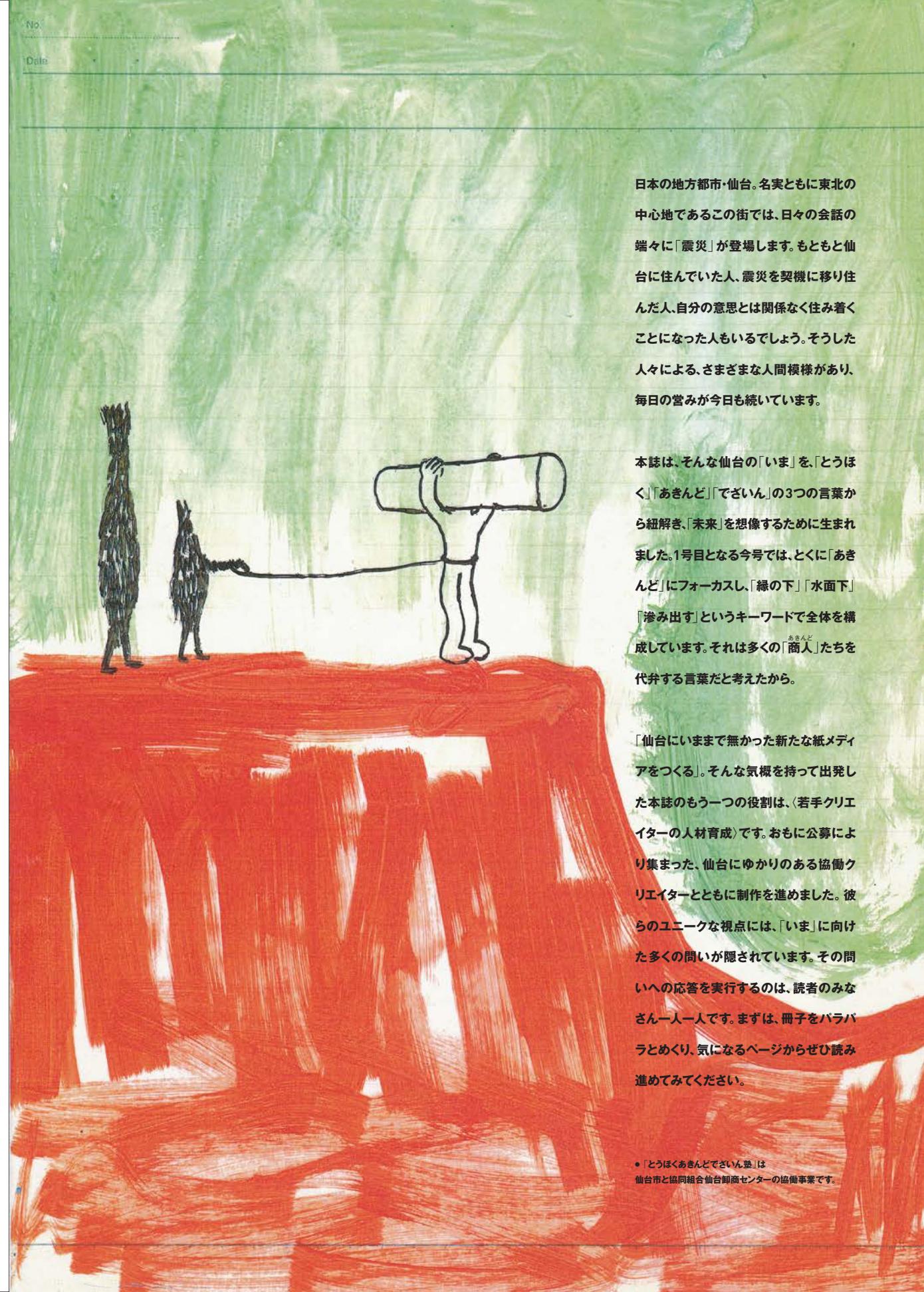
*落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。本書の無断複写・複製(コピーなど)は著作権法上の例外を除き禁じられています。代行業者などの第三者による本書の電子的複製も認められておりません。
なお、この本についてのお問い合わせは、下記宛てお願いいたします。お問い合わせ先:とうほくあきんどでざいん塾[Tel: 022-235-2161]

連載 SERIES

- 38 東北に生きる人と、かたち
- 30 仙客万来 人をつなぎ場を創るそして仙台の文化へ
- 12 仙台市だつて懶んどります 外国人の視点から地域と田舎つ MEET THE NEW LOCAL
- 04 仙台に生きる人と、かたち

特集 SPECIAL FEATURE

エローマイタク：工藤夏海+渡辺桂郎「Untitled」



日本の地方都市・仙台。名実ともに東北の中心地であるこの街では、日々の会話の端々に「震災」が登場します。もともと仙台に住んでいた人、震災を契機に移り住んだ人、自分の意思とは関係なく住み着くことになった人もいるでしょう。そうした人々による、さまざまな人間模様があり、毎日の営みが今日も続いている。

本誌は、そんな仙台の「いま」を、「とうほく」「あきんど」「でざいん」の3つの言葉から紐解き、「未来」を想像するために生まれました。1号目となる今号では、とくに「あきんど」にフォーカスし、「縁の下」「水面下」「滲み出す」というキーワードで全体を構成しています。それは多くの「商人」たちを代弁する言葉だと考えたから。

「仙台に今まで無かった新たな紙メディアをつくる」。そんな気概を持って出発した本誌のもう一つの役割は、「若手クリエイターの人材育成」です。おもに公募により集まった、仙台にゆかりのある協働クリエイターとともに制作を進めました。彼らのユニークな視点には、「いま」に向けた多くの問い合わせが隠されています。その問い合わせへの応答を実行するのは、読者のみなさん一人一人です。まずは、冊子をバラバラとめぐり、気になるページからぜひ読み進めてみてください。

・「とうほくあきんどでざいん塾」は仙台市と協同組合仙台卸商センターの協働事業です。

東北に生きる人と、かたち

第1弾 青森 + 山形編

私たちが住む東北には、

独自の風土が息づく「かたち」があります。

そして、その「かたち」を時代に刻む人々がいます。

だけど、その姿はまだ見えない場所にあつたりするのです。

だからこそ、今ここにいつまでも残したい東北を記します。

あなたが知らぬ東北の妙、ここにあり。

文・及川恵子 デザイン・阿部順子 撮影・嵯峨信寛

MADE
IN
TOHOKU

01

ボッコ靴

Kボッコ株式会社／青森県黒石市

天然ゴム100%の完全手作り雪上用長靴

津軽地方に生きる人々と共にある
日向ぼっこのようにあたたかい長靴

青森県の内陸に位置する黒石市。八甲田山の麓で、果実を豊かに実らせる大地が広がる場所だ。ここには、そんな自然と生きる人々に長年寄り添つてきた長靴がある。天然ゴムだけで作られた「ボッコ靴」だ。不思議な名前のその長靴は、「雪の上でもあたたかく、まるで『日向ぼっこ』をしているようだ」と例えられるほど、寒い冬に耐える人の足元を温め、特にリンゴ農家やマタギに長

く重宝されてきた。雨を凌ぐためだけのものではない。北の暮らしが生み出した生活の品だ。

江戸時代からの伝統的建造物が立ち並ぶ「こみせ通り」。その近くに「Kボッコ」という靴屋がある。その昔、何人の職人がボッコ靴を作り出した店だ。東南アジアから届くゴム板を裁断し組合せ、完成させる。しかし、材料が稀有であることや70年代後半に安価なゴム長靴が流通したこ

とから、'80年代には完全にその姿を消してしまった。国内で上質な長靴が簡単に手に入ることの代償として、陽だまりの長靴は消えた。現在の店主、工藤勤さんは、その当時毎日のように「ボッコ靴はないのか」と声をかけられたことをよく覚えているという。切実な声は、復活の歩みを強める動力になった。そこからボッコ靴が復活を果たすのは、10年後のこととなる。



01
青森県黒石市
Kボッコ株式会社
ボッコ靴

02
山形県真室川町
工房ストロー
卯つと





1 「昔はものづくりがそんなに得意じゃなかっただんですけどね(笑)。でも、子どもの頃に職人の作業をよく見ていたのは覚えています」 2 約20個のバーツから成り立つ3種のボッコ靴。のりしも考慮しながら、ハサミひとつで型どおりに切り出し接合していく 3 余ったゴムは溶かして接着剤として使用。そうすることですべてが融合し、何年経ってもゴムが剥がれることはない

4 使う道具はローラー、木べら、ハサミの3つだけ。木型には、現代人の足に合わせるためにテープを貼りサイズを調整する 5 ボッコ靴を愛用しているリンゴ農家の山口さん。「雪の日はボッコ靴の出番。履き心地もいいし、あたたかいからね」 6 山口さんが愛用するボッコ靴。「丈は長く、甲の部分も厚く。おしゃれにしたくて、オリジナルで作ってもらいました」。お義父さんの靴にはイニシャルの「Y」を付けた

「靴の復活は時代錯誤だったかも。
でも待っている人がいたから」



店内奥にある4畳半ほどの作業スペース。成形しやすいようゴム板に熱を加えるため、夏場でもストーブが欠かせない

「だいぶ探したんですけど、どれだけ調べてもボッコ靴の歴史に繋がる情報が見つからなくて…。どうしたものかな」と思いましたね(笑)』と振り返る工藤さん。ネットを頼りにボッコ靴の情報を集め出したものの、調べれば調べほど「こんなに難しいものなのかな」と大きな壁に行き当たった。「待っている人がいるとしても、ボッコ靴の復活なんて今の時代に逆行してんじゃないのかなって思つたりしましたよ。ただ、どうしても自分の感覚に引っかかるものがあるじゃないのかなって思つたりしましたよ。ただ、どうしても自分の感覚に引っかかるものがあるんです」。

その後、偶然にもボッコ靴を作っていた職人との出会いが待っていた。また、昔使われていた倉庫に木型が残されたり、「ボッコ靴用のゴムを卸していた」という人に出会つたりと、すべてのきっかけが一本の糸を紡ぐように繋がっていく。作り方は、職人の頭の中にある。一つひとつの話を聞き取りながら型紙を起こし、木型や金型を整えた。頭の片隅にあった想いを少しずつ形にしながらも、間を進むような作業に没頭していた工藤さんに当たる光は徐々に強くなつていき、ボッコ靴は10年越しに日の目を見る事になった。朗報は、市内だけでなく隣接する弘前市や県内にも広まつた。そして県外からも大きく注目されることになる。

未来はまったく明るくない もしかしたらもう終わりかもしれない

雪国で使われていた長靴は、全国で愛される存在に。しかし現在は、再び材料が入手困難となり注文を停止している。生産再開の目処は立っていないが、「それでも」と待つ人は数多い。「ケガをしている方や義足の方もお店にいらっしゃるんですね。いくら時間がかかるても、待っている方にはできるだけの技術で作つてあげたいですね」。別のゴムでは替えがきかない。野生的なビジュアルながら、その正体は実に繊細なのだ。「100パーセントの天然ゴムじゃないと、ボッコ靴とは言えない。もうここで途絶えるかもしれないね。これがどんな靴だったかという資料は、使つてくれた方が伝えてくれたらしいかな」。工藤さんの言葉には、さみしさの中にどこか潔さすら感じる。しかし、もしも途絶えることがあつたとしても、一度復活したボッコ靴、必ずやその二度目があるだろう。ここにしかない風土が生んだ美しいからは、簡単には消えないものなのだから。



K-Bocco株式会社
青森県黒石市横町1-2
0172-52-2181
営業時間／9:00～18:00
定休日／不定休
<http://www.k-bocco.com/>

農家発、美しく卵を守るパッケージ



撮卵タイプ(右)
木卵タイプ(左) 各2,592円
※P.43に掲載の「卵つとミニ」は1,296円

MADE IN TOHOKU

「下ごしらえの方法から知らないと、
“作る”ってことにならないと思うんです」



籠巻きや藁草履など、高橋さんが作った品や材料が並ぶ作業部屋。捨てる部分のない藁は用途別に分けてストックしておく

長い冬が培った東北の藁文化が 実用品の美しさを形作る出発点に

農家の冬は忙しい。春を迎える前に、農具の手入れは欠かせない。作物を植えるためには下準備だつて必要だし、ましてや昔は、履物も紐も農作業に必要なものはすべて稻藁で手作りしていたのだから。そうして東北に長く厳しい冬が訪れるたびに、藁の文化は育まれ、いつしか玩具や飾り物、籠など暮らしの品にも応用されていくようになる。卵つとは、そんな過程の中で生まれたもののひとつだ。

その昔、卵はお見舞いやお祝い品に用いられるほど貴重な食材。「大切な人のために、大事に丁寧に届けたい」。そんな想いに、藁が身近にあつた米どころの風土や時代背景が掛け合わされて形となつた。「きっとそういう過程と形を『地域のデザイン』と呼ぶのでしょうかね」と語るのは、農家のなかわら藁文化の知識や技術を精力的に広める工房ストロー主宰の高橋伸一さん。「卵つとは、作る人それぞれの違いと工夫があるんです。そんな中で、『あの人の作る形はかつこいいね』とか、この結い方だと卵が落ちにくいよ。なんて教え合いながら、少しずつこの地域ならではの意匠になつたんでしょうね」。

地域性や機能性、そして運びやすさや理にかなつた美しさ。卵つとは、そのすべてが混じり合つた「用の美」を成しているのだ。

MADE IN TOHOKU

包装としての機能と美しい佇まい そして先人たちの知恵をつむぐ手

作業部屋には、自身が育てた様々な種類の藁が並べられている。その中で卵つとに使われるのもち米の藁。長く、ピンとまっすぐ。そしてしなやかであることがその理由だ。また、見栄えが整うように太さと色味を揃えた藁を使うことも肝心なのだという。

ポートのように形作った藁の束。その中央に卵を詰め、スッと取り出した一本の藁をぐるりと巻きつけ固定する。卵は藁でしっかりと包まなければならないが、美しい佇まいを犠牲にはできない。そのバランスを細かく見極めながら、高橋さんは5個の卵を丁寧に納めていく。「こっちが引っ込むと、向こうが膨らむ（笑）。全体の形とか藁の厚み、とにかくいろんなところに注意しないといけないんです」。

卵つと本体を作る工程には、一本の藁で「結ぶ」という動作がない。結ぶと一点に力が掛かつて切れてしまうため、その代わりに藁を「ねじる」のだ。作り方の中には、力学を用いた手法もしつかり落とし込まれているから驚きだ。そんな先人たちの知恵は、高橋さんの滑らかな手の動きを通して形になる。藁を選び取る。束ねて、折り曲げる。巻く。くるくる…。まるで「手そのものが道具だ」と言わんばかりに軽やかに工程を紡いでいくその両手に、想いを込めながら。

量産して儲けようだなんて思わない ただこれからも作り続けたいだけ

以前は、公務員として地域活性を図る仕事をしていた高橋さん。しかし「何百年、何千年と培われてきたものが途絶えることがさみしい」と、この世界へ飛び込んだ。「どんなに高度な技術があるとしても、人から学ばないことは続かないんですよ。藁細工は今の時代にはもう必要ないかもしれない。でも維持していくには、何かの役に立つ時が来るかもしれないじゃないですか。だから私は、どんどん新しいものを作っていくみたい。技術をたくさん持っている先輩たちからまだ教えてもらっていないこともたくさんあるんですから」。

高橋さんが作る卵つとは、先人から受け継いだ形を日々ブラッシュアップさせていく。「これで完成」ということはなく、より美しい変化を求めて進化していくのだ。言い換えれば、米どころが生んだデザインがまさに今受け継がれていく渦中にあること。きっとこれからも、藁が紡ぐ過去と未来の結び目が続いていくはずだ。



1 藉仕事の基本となる「縛ない」。素早い動きで、2つの藁の束をしっかりと絡み合わせ交差させていく 2 作業のほとんどが手を使うため、道具はハサミやキリなどいたってシンプル。自作の横づちは、藁を叩きしなやかさを出すための道具 3 藉の選別は見た目を左右する大事な下準備。よく目を凝らすと緑色や淡いオレンジ色など微妙な色合いの違いが。

4 「以前は華奢なデザインだったんですけど、今はもうちょっとどっしりさせたくて。昔のを見ると恥ずかしくなったりもしますよ」 5 馬や犬、猫をかたどった愛らしい形のオーナメント（各540円）。インテリアはもちろん、プレゼントにもぴったり 6 「巣かご」（4,536円～）。編まれた藁の隙間からこぼれる光が、柔らかく室内を照らし出す



工房ストロー
山形県最上郡真室川町
大字平岡885
☎ 090-3125-2500
<http://kobo-straw.com/>
※作品はオンラインショップより購入可

特集

仙客万来

人をつなぎ場を創る
そして仙台の文化へ

客

仙

approach KYAKU

中心部商店街の魅力をさらに高め集客力の向上を図る

まずは来てもらうところからを“おもてなし”と捉え、中心部商店街へ足を運びたくなるような情報を広く届けている。交通アクセスの利便性向上への対応を進めていく。来訪者を惹きつける魅力、中心部商店街を訪れる目的となる要素など、既存の資源を強化、発掘してアピールしていく。

新たな魅力として付加していく商店街だけでなく、地元のあらゆる人が一緒にになって関わるようになる。

※「仙台市中心部商店街将来ビジョン」(仙台市、2010年)より抜粋

approach SEN

仙台市中心部商店街将来ビジョン

豊かな自然環境と風趣ある歴史・文化をもつ仙台市は、東北地方の中核都市として、また杜の都の名で親しまれる都市として着実な発展を遂げてまいりましたが、本市が将来にわたって都市間競争の中で選ばれ続ける都市として、持続的に発展していくためには、都市の魅力づくりが重要となっており、仙台市のブランド力の向上が求められています。

※「仙台市中心部商店街将来ビジョン」(仙台市、2010年)より抜粋

「多くの人が次から次へとやって来る仙台であり続けてほしい」

そんな願いを込めて、私たちはこの特集のタイトルを決めた。

実のところ、我々がそんなことを願わなくとも仙台はぎわっている。

なにせ「東北を代表する100万都市」だ。

中心部にも郊外にも、大型商業施設が進出している。東北初をうたう出店も相次いでいる。

そっちこっちで建設が進むマンションやホテル。

東日本大震災後、その勢いは衰えるどころか以前より加速した。

そんな様子にあっけにとられる一方で、

何かが置き去りにされているとの思いが拭えない。

それは「仙台の文化」と呼べるもの育み、維持する力ではないのか。

私は2011年4月、新聞社勤めのために離れていた故郷・仙台に戻ってきた。

被災地取材を続けるかたわら、急激に変化する

仙台市中心部の姿を見て、胸にわだかまる思いがあつた。

一時にぎわいでではなく、多くの人が魅力を感じて

やって来る街であり続けるには、文化の厚みが必要ではないか。

「れつきとした伊達の文化があるじゃないか。藩政時代からの産業だつてある。

伊達政宗の生誕450年の節目に何を言っているのか」。そんな反論が聞こえてきそうだ。

あるいはこんな声もあるかもしれない。

「七夕に青葉まつり、定禪寺ストリートジャズフェスティバルだってある。市民が参加するイベントがどれだけあると思っているのか」と。

しかし、そんな外見の華々しさと文化の内実との隔たりが大きくなっている気がしてならない。

中心部に古くからある商店街はかつての活気を失い、

全国で展開するチェーン店が幅を利かせ、

大にぎわいの仙台駅前には首都圏で目にする商業施設がひしめく。

そこに「仙台の文化」、例えば「商人文化」を感じとれるだろうか。

伊達文化の一つとして誇らしげに語られることも多い

伝統工芸にしても、後継者不足や職人の高齢化に悩まされている。

私の祖母の実家も仙台草笛を手がける家具屋だったが、何年も前に廃業を余儀なくされた。それでも、じっと目を凝らせば、今の仙台の文化を形づくり、

次世代に受け継ごうと地道な取り組みを続けている人たちがいる。

この特集では、仙台でお笑い文化とジャズ文化を育む活動を続けている2人に光を当てたい。

この2人に共通するのは、人々が集い楽しむ「場」を創り出し、それを維持・発展させようという姿勢だ。

さらに、それは仙台市中心部のまちづくりにもつながっている。

國らずも地場の中小企業にも通ずる課題が浮かび上がる。

文化を育て、文化の厚みをつくり出すとは、どんな営みなのか。
お笑いとジャズに視点を据えて切り込んでみたい。

approach RAI

市民・来訪者が求める新たな愉しみを加える

まずは来てもらうところからを“おもてなし”と捉え、中心部商店街へ足を運びたくなるような情報を広く届けている。交通アクセスの利便性向上への対応を進めていく。来訪者を惹きつける魅力、中心部商店街を訪れる目的となる要素など、既存の資源を強化、発掘してアピールしていく。

新たな魅力として付加していく商店街だけでなく、地元のあらゆる人が一緒にになって関わるようになる。

※「仙台市中心部商店街将来ビジョン」(仙台市、2010年)より抜粋

來

approach BAN

商業・国際交流・文化芸術・居住機能などの多様な都市へ

本市中心部においては、東北や都市圏交流の拠点として、商業・業務機能や国際交流機能、文化芸術機能、居住機能などの多様な都市機能と交通環境が調和して、様々な相乗効果が生まれてきました。

このように、中心部の商店街は本市のみならず東北の商業の中心的存在として、都市としての賑わいや魅力的な都市空間の創出に寄与してきたところです。

※「仙台市中心部商店街将来ビジョン」(仙台市、2010年)より抜粋

万

「みちのくせんたいよせ」
魅知国仙台寄席にかける情熱と想い
仙台の地に笑いの花を。
寄席という場を耕す決意。

白津 守康

1961年、仙台市一番町に生まれる。近所の子どもたちと一緒に遊び場として育つ。不動産業などを営みながらお笑いなどの大衆芸能の企画・運営をする株式会社BBIを経営。「モノは満たされているが、仙台には心を満たすものが必要」と言い、芸人が本気の勝負をする寄席づくりをめざしている。

お笑い文化「不毛の地」に種をまく

東北の芸能の聖地へ

仙台は「お笑い文化不毛の地」



と/or われている。

「不毛の地」がまことじやかに言

われるようになつた翌端は何か。

a

疑問や反発を覚える方もいる

だろう。ただこの言葉が地元

紙の見出しを飾るほどには知ら

れた説だ。河北新報で今年1月

に掲載された仙台のお笑い事情

b

を伝える連載に、「不毛の地」との

言葉があった。

記事にはこうある。「仙台は演

劇、音楽活動が盛んな方で、お

笑い文化は根付かず「不毛の地」

c

と呼ばれてきた」(河北新報20

17年1月19日夕刊)

記事自体は仙台のお笑い文化を

支えようと奮闘する人たちの姿を

追つたもので、彼らへの共感に

a

満ちている。そんな記事でも触

れなければならないほど、定着

言葉があった。

吉本の撤退と「不毛の地」説。

私は仙台で生まれ育った者とし

b

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

地方進出を推し進めていた吉

c

本興業が仙台に事務所を構えた

のは1995年。しかし、ライ

ブなどの事業が振るわざわざか

数年で撤退した。

吉本の撤退と「不毛の地」説。

a

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

b

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

c

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

a

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

b

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

c

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

a

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

b

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

c

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

a

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

b

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

c

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反発と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

a

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

b

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

c

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

a

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

b

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

c

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

a

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

b

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

c

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

a

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

b

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

c

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

a

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

b

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

c

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

もある。自分がおもしろいと感

じたら周囲を気にせず遠慮なく

指摘する。

a

私は仙台で生まれ育った者とし

て、反癪と同時に思い当たる節

仙台の真ん中に笑いの場を

文化の番町を発信地に

商店街という地で
町おこし、ならぬ
“笑いおこし”



白 津さんを駆り立てているのは、
お笑いへの愛、とりわけ落語に対する愛着だ。
ただ、単なる落語好きと捉えては、
その実像を見誤ってしまう。白津さんは情熱のもう一方の源泉には、まづくりへの思いがある。自分が生まれ育った一番町を仙台の文化の発信地にして、かつてのにぎわいを復活させたいという熱い思いだ。そうなどできるものではない。

仙台三越の目と鼻の先、一番町四丁目商店街から少しだけ国分町側に入った場所に白津さんのルーツがある。今もこの地で不動産業などを営む一方、落語などの大衆芸能に携わる株式会社B.B.Iを経営し、拠点としている。ちなみに社名には、「Basic(基本)」「Brain(頭脳)」「Imagination(想像力)」という表の意味に加えて、「Bunchō(国分町)」「Banchō(番町)」「Inatora(虎横堀)」という地域にまつわる愛称に

ちなんだ意味が込められている。生まれてこの方、白津さんが見つめ続けてきた街も大きく変わった。21世紀に入ってから商店街の移り変わりが激しくなったね。1階の路面店で営業していた商店主たちが不動産オーナー業に転じた。パチンコ屋さんや地元資本ではない飲食店が増えましたね」

「昔は三越の並びのロッテリアの場所が中華料理屋さん、北海道どさんこプラザの所ははんこ屋さん、ドトールの所は人形店……」と、かつてあつた店をそらんじてみせるときの白津さんの目は、近所の悪ガキたちと商店街を遊び場に駆け回っていた少年時代を幻視している。

そんな白津さんが、お笑いに直接かかるようになつたきっかけは、マンネリ化していた商店街の歳末感謝祭にテコ入れして、中心部の6つの商店街に人を呼び込み、活気を取り戻すためだった。

『仙台で寄席をやりたい』 六華亭遊花との出会い

2009年12月、街角でお笑いを楽しむ

「仙台お笑いコンテスト(仙台笑コン)」をスタートさせる。東京や仙台などで活動する若手お笑い芸人が頂点を競う。

仙台を拠点とするストロングスタイルやニードル、

最近テレビで売り出し中のみやぞんがメンバーのANZEN漫才など、

その後活躍の場を広げていくことになる若手が参加した。

仙台笑コンは2015年まで続いた。

仙台笑コンを始めた前後は、白津さんにとってその後の生き方を左右する出来事が相次いだ時期だった。

色物と言われる漫才や奇術などの芸に興味を持ち、

もともと寄席が好きだった白津さんは、

近所にあるおでん三吉を借りて寄席を開催することなどもしていた。

そんな折、東京のテレビ局で長くお笑い番組を

手がけてきたことで知られるプロデューサーと知己を得る。

「その人に芸協(公益社団法人落語芸術協会)の事務局の方を紹介してもらい、『仙台で寄席をやりたい』

という話が現実味を帯びたんです」

その頃、後に白津さんと一緒に東北弁落語を運営していくことになる落語家との出会いがあった。

仙台を拠点に東北弁落語で活躍する

六華亭遊花さん(当時は川野目亭南天)だ。



a／席亭として舞台に笑みを浮かべながら視線を注ぐ白津さん。

b／桜井薬局セントラルホールで開催している「魅知国仙台寄席」の風景。毎回さまざまな公演テーマを設け、楽しめる内容を工夫している。

c／会場に掲げられる演目。

魅知国仙台寄席

魅知国仙台寄席が産声を上げたのは仙台三越の地下にあった

フレードコード。

そのときの様子を、六華亭遊

花さんは落語の本題に入る前に

語つてみせることがある。

「パーテーションに仕切つてあ

る向こうから、カチャカチャカ

チヤカチヤつて食器の音だの、

子どもの『お母さん』って声

が聞こえて大変だったの

身近な東北弁で語られるそん

なドタバタ劇に、寄席の客は引

き込まれる。でも、これは本当

の話だろうか?

そんな私の質問に白津さん、

苦笑まじりでこう語る。「いや、

大きさじゃないんだよ。ついで

に言うと、ここは笑つてい」と

ころなんですよって呼びかける、

なんのこともしたんです」。これ

も「不毛の地」と言われる所以か。

苦笑まじりでこう語る。「いや、

大きさじゃないんだよ。ついで

に言うと、ここは笑つてい」と

ころなんですよって呼びかける、

なんのこともしたんです」。これ

も「不毛の地」と言われる所以か。

下駄履きで、ふらつと立寄る 寄席の定席を仙台に

今 回の特集の取材依頼のため

月上旬、私は以前から耳にしている

定席の話を思い出して尋ねてみ

た。「そう言えは、定席をつくる話

はどうなりました?」。どう簡単に

できるものではないだろう。まだ

まだ先の話かなと思っていた。」

笑う“街門”には 福来たる。

お笑いが街の波及効果へ



a

一一番町四丁目商店街から、かき徳・

玉澤ビル手前の一方通行の道を國

分町方向に入つてすぐ、現在は

などの資料を見せてくれた。

寄席の名前は「花座」。世阿弥

が著した「風姿花伝」の「花」に因む。

あるとき、白津さんが能樂・和

泉流狂言師で人間国宝の野村萬さ

んから「芸事には花が必要」と

して教えられた。寄席を東北の

芸能の拠りどころ、「花」を咲か

いこうかとか」。それには料金が

いなかった。

「仙台駅前とは違つ、仙台の文化

寄席設花座誕生へ



b

「うん、いよいよ来春にできる

予定になつてね」と白津さん。予

想外の答えに驚く私に完成予想図

などの資料を見せてくれた。

寄席の名前は「花座」。世阿弥

が著した「風姿花伝」の「花」に因む。

あるとき、白津さんが能樂・和

泉流狂言師で人間国宝の野村萬さ

んから「芸事には花が必要」と

して教えられた。寄席を東北の

芸能の拠りどころ、「花」を咲か

いこうかとか」。それには料金が

いなかった。

「仙台駅前とは違つ、仙台の文化

定席があるのは東京、大阪、名

古屋だけ。だけ。実現すれば地方

都市での喰矢となる。

白津さんはこうも期待する。笑

立寄れる場にしたい。買い物

のついでや国分町で飲む前に、

ちょっとと寄席で落語でも聴いて

いこうかとか」。それには料金が

いなかった。

「仙台駅前とは違つ、仙台の文化



b

「うん、いよいよ来春にできる

予定になつてね」と白津さん。予

想外の答えに驚く私に完成予想図

などの資料を見せてくれた。

寄席の名前は「花座」。世阿弥

が著した「風姿花伝」の「花」に因む。

あるとき、白津さんが能樂・和

泉流狂言師で人間国宝の野村萬さ

んから「芸事には花が必要」と

して教えられた。寄席を東北の

芸能の拠りどころ、「花」を咲か

いこうかとか」。それには料金が

いなかった。

「仙台駅前とは違つ、仙台の文化



b

「うん、いよいよ来春にできる

予定になつてね」と白津さん。予

想外の答えに驚く私に完成予想図

などの資料を見せてくれた。

寄席の名前は「花座」。世阿弥

が著した「風姿花伝」の「花」に因む。

あるとき、白津さんが能樂・和

泉流狂言師で人間国宝の野村萬さ

んから「芸事には花が必要」と

して教えられた。寄席を東北の

芸能の拠りどころ、「花」を咲か

いこうかとか」。それには料金が

いなかった。

「仙台駅前とは違つ、仙台の文化



b

「うん、いよいよ来春にできる

予定になつてね」と白津さん。予

想外の答えに驚く私に完成予想図

などの資料を見せてくれた。

寄席の名前は「花座」。世阿弥

が著した「風姿花伝」の「花」に因む。

あるとき、白津さんが能樂・和

泉流狂言師で人間国宝の野村萬さ

んから「芸事には花が必要」と

して教えられた。寄席を東北の

芸能の拠りどころ、「花」を咲か

いこうかとか」。それには料金が

いなかった。

「仙台駅前とは違つ、仙台の文化



b

「うん、いよいよ来春にできる

予定になつてね」と白津さん。予

想外の答えに驚く私に完成予想図

などの資料を見せてくれた。

寄席の名前は「花座」。世阿弥

が著した「風姿花伝」の「花」に因む。

あるとき、白津さんが能樂・和

泉流狂言師で人間国宝の野村萬さ

んから「芸事には花が必要」と

して教えられた。寄席を東北の

芸能の拠りどころ、「花」を咲か

いこうかとか」。それには料金が

いなかった。

「仙台駅前とは違つ、仙台の文化



b

「うん、いよいよ来春にできる

予定になつてね」と白津さん。予

想外の答えに驚く私に完成予想図

などの資料を見せてくれた。

寄席の名前は「花座」。世阿弥

が著した「風姿花伝」の「花」に因む。

あるとき、白津さんが能樂・和

泉流狂言師で人間国宝の野村萬さ

んから「芸事には花が必要」と

して教えられた。寄席を東北の

芸能の拠りどころ、「花」を咲か

いこうかとか」。それには料金が

いなかった。

「仙台駅前とは違つ、仙台の文化



b

「うん、いよいよ来春にできる

予定になつてね」と白津さん。予

想外の答えに驚く私に完成予想図

などの資料を見せてくれた。

寄席の名前は「花座」。世阿弥

が著した「風姿花伝」の「花」に因む。

あるとき、白津さんが能樂・和

泉流狂言師で人間国宝の野村萬さ

んから「芸事には花が必要」と

して教えられた。寄席を東北の

芸能の拠りどころ、「花」を咲か

いこうかとか」。それには料金が

いなかった。

「仙台駅前とは違つ、仙台の文化



b

「うん、いよいよ来春にできる

予定になつてね」と白津さん。予

想外の答えに驚く私に完成予想図

などの資料を見せてくれた。

寄席の名前は「花座」。世阿弥

が著した「風姿花伝」の「花」に因む。

あるとき、白津さんが能樂・和

泉流狂言師で人間国宝の野村萬さ

んから「芸事には花が必要」と

して教えられた。寄席を東北の

芸能の拠りどころ、「花」を咲か

いこうかとか」。それには料金が

いなかった。

「仙台駅前とは違つ、仙台の文化



b

「うん、いよいよ来春にできる

予定になつてね」と白津さん。予

想外の答えに驚く私に完成予想図

などの資料を見せてくれた。

寄席の名前は「花座」。世阿弥

が著した「風姿花伝」の「花」に因む。

あるとき、白津さんが能樂・和

泉流狂言師で人間国宝の野村萬さ

んから「芸事には花が必要」と

して教えられた。寄席を東北の

芸能の拠りどころ、「花」を咲か

いこうかとか」。それには料金が

いなかった。

「仙台駅前

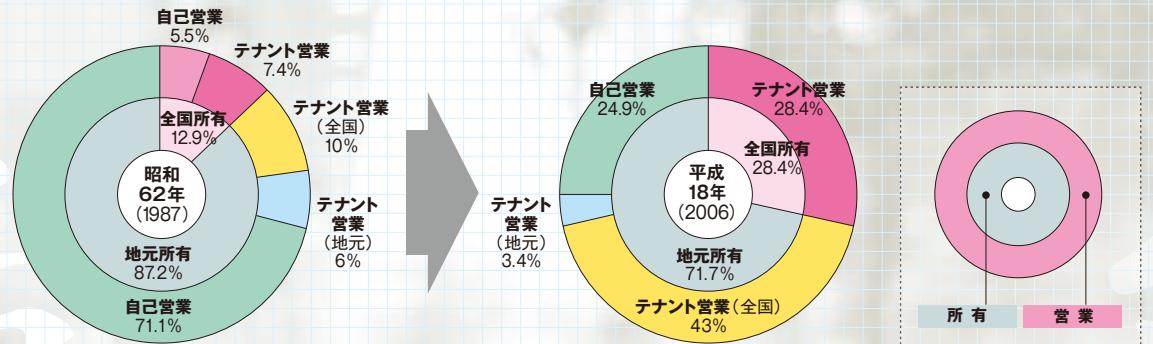
データで見る中心部商店街と将来ビジョン

図A 中心部商店街の内部状況

土地・建物の所有と使用の分離が進む

- 流通構造・不動産構造の変化が、商店街の内部構造に大きな影響を与えていている。
- 全国展開するナショナルブランド、ワールドブランドのショップを中心いてテナント営業化が急速に進行している。
- 地元営業>テナント営業>地元はビルオーナー化

〈一番町三丁目でのケーススタディ〉※営業形態は1階部分で判断。比率は店舗の間口の長さによる。



※「仙台市中心部商店街将来ビジョン」(仙台市、2010年、2-3.中心部商店街の内部状況)より作成

全国チェーンテナントの増加

- 地元企業等で所有する建物の割合は約2割減となっている。
- 全国チェーンのテナント営業は、約2割から約7割へと大幅に増加している。

仙台市郊外や周辺の市や町にできた大型商業施設に客を奪われ、空洞化した仙台市中心部の商店街。最近では仙台駅周辺に次々と進出した店舗にも客足が流れている。

仙台に暮らす人なら誰でも認識していることだ。仙台市や仙台商工会議所が公表している資料はこうした現実を裏打ちしている。

仙台市が東日本大震災の約半年前の2010年10月にまとめた「仙台市中心部商店街将来ビジョン」(以下「将来ビジョン」)は、策定に至った問題の所在をこう記している。

「中心部商店街を取り巻く環境は、郊外型大型店との競合、中央資本の進出、全国展開の動向など、ここにきて大きく変化している。」

全国 チェーンテナントの増加と土地・建物の所有と使用の分離

●一番町三丁目でのケーススタディ

減少傾向の一帯方面通行量と激増する仙台駅前の通行量

●仙台市中心部商店街の通行量調査

表A 仙台市内中心部商店街の通行量調査結果

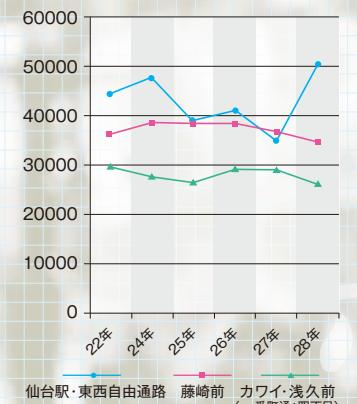
金曜日の通行量調査結果

- 平成28年に仙台駅前・東西自由通路の開通により通行量が激増している。
- 藤崎前と一番町通・四丁目は緩やかな下降傾向となっている。

金曜日(各年の5月下旬の金曜日に調査、平成23年度は東日本大震災のため中止)

	平成22年	24年	25年	26年	27年	28年
仙台駅・東西自由通路	44355	47762	38912	41077	34879	50595
藤崎前	36553	38776	38517	38453	36688	34714
カワイ・浅久前(一番町通:四丁目)	29719	27899	26448	29168	28932	26280

※各年度の「仙台市内中心部商店街の通行量調査結果」(仙台市、仙台商工会議所)より作成



表B 仙台市内中心部商店街の通行量調査結果

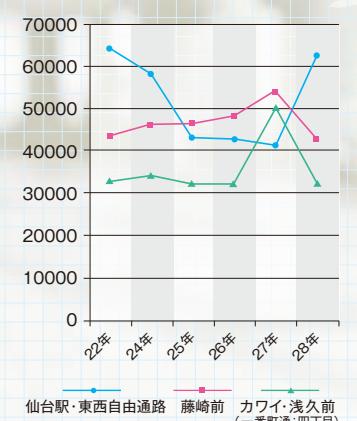
日曜日の通行量調査結果

- 平成28年に仙台駅前・東西自由通路の開通により通行量が平日、休日ともに激増。
- 新店オープンなどで仙台駅前の回遊性や集客力がアップしたことが大きな要因と考えられる。
- 平成27年の藤崎前とカワイ・浅久前の数値が急増しているのは、市役所前市民広場で開催されたイベントの影響による。そのため28年の通行量調査結果では、27年の数値を比較の対象とはしていない

日曜日(各年の5月最終日曜日に調査)

	平成22年	24年	25年	26年	27年	28年
仙台駅・東西自由通路	64332	58159	43338	42706	41512	62687
藤崎前	43752	46178	46654	48058	54298	42710
カワイ・浅久前(一番町通:四丁目)	33011	34405	32438	32559	50574	32477

※各年度の「仙台市内中心部商店街の通行量調査結果」(仙台市、仙台商工会議所)より作成



仙台市と仙台商工会議所が毎年5月下旬に定期調査している「仙台市内中心部商店街の通行量調査結果」(表A、B)参照)では、平成28年(2016)にあって仙台駅前・東西自由通路の通行量が平日、休日とも激増し、反対に一番町方面が大きく減少している。この調査結果でも言及されているが、この年に東西自由通路が開通し、エスバル東館やバロックのオープンなどで仙台駅前の回遊性や集客力がアップしたことなどが大きな要因と見られる。中心部商店街が置かれた状況が厳しさを増していることがわかる。

「将来的に多くの人がイベントで一時的に多くの人々を集めることも大事だが、やかけの一つになると考える。仙台で通じて、仙台ならではの文化の代わられたことがはつきりわかる。さらに地元企業が所有する建物の割合も減った。全国展開のテナントに取つて業している割合が大幅に減り、元の建物所有者が自ら店を營んで仙台駅前・東西自由通路が調査結果でも言及されているが、この年に東西自由通路が開通し、エスバル東館やバロックのオープンなどで仙台駅前の回遊性や集客力がアップしたことなどが大きな要因と見られる。中心部商店街が置かれた状況が厳しさを増していることがわかる。

「将来的に多くの人々を集めることも大事だが、やかけの一つになると考える。仙台で通じて、仙台ならではの文化の代わられたことがはつきりわかる。さらに地元企業が所有する建物の割合も減った。全国展開のテナントに取つて業している割合が大幅に減り、元の建物所有者が自ら店を營んで仙台駅前・東西自由通路が調査結果でも言及されているが、この年に東西自由通路が開通し、エスバル東館やバロックのオープンなどで仙台駅前の回遊性や集客力がアップしたことなどが大きな要因と見られる。中心部商店街が置かれた状況が厳しさを増していることがわかる。

「将来的に多くの人々を集めることも大事だが、やかけの一つになると考える。仙台で通じて、仙台ならではの文化の代わられたことがはつきりわかる。さらに地元企業が所有する建物の割合も減った。全国展開のテナントに取つて業している割合が大幅に減り、元の建物所有者が自ら店を營んで仙台駅前・東西自由通路が調査結果でも言及されているが、この年に東西自由通路が開通し、エスバル東館やバロックのオープンなどで仙台駅前の回遊性や集客力がアップしたことなどが大きな要因と見られる。中心部商店街が置かれた状況が厳しさを増していることがわかる。

「将来的に多くの人々を集めることも大事だが、やかけの一つになると考える。仙台で通じて、仙台ならではの文化の代わられたことがはつきりわかる。さらに地元企業が所有する建物の割合も減った。全国展開のテナントに取つて業している割合が大幅に減り、元の建物所有者が自ら店を營んで仙台駅前・東西自由通路が調査結果でも言及されているが、この年に東西自由通路が開通し、エスバル東館やバロックのオープンなどで仙台駅前の回遊性や集客力がアップしたことなどが大きな要因と見られる。中心部商店街が置かれた状況が厳しさを増していることがわかる。

「将来的に多くの人々を集めることも大事だが、やかけの一つになると考える。仙台で通じて、仙台ならではの文化の代わられたことがはつきりわかる。さらに地元企業が所有する建物の割合も減った。全国展開のテナントに取つて業している割合が大幅に減り、元の建物所有者が自ら店を營んで仙台駅前・東西自由通路が調査結果でも言及されているが、この年に東西自由通路が開通し、エスバル東館やバロックのオープンなどで仙台駅前の回遊性や集客力がアップしたことなどが大きな要因と見られる。中心部商店街が置かれた状況が厳しさを増していることがわかる。

本格ジヤズライブにかける情熱と想い

最高の演奏の場をつくり
本物を楽しむ素地をつくる。

1955年、福島県川俣町の江戸時代末期から続く呉服屋の次男として誕生。中学時代に兄が聴いていたジャズに魅せられ、若い頃はプロのトランペッターをめざした。国分町でジャズライブを聴かせる店を経営した後ステッキ専門店に転じたが、会場を借りるなどしてジャズライブの企画・運営を続け、一貫して一級編のミュージシャンを仙台に招いている。



ステッキ専門店が届ける
本格ジヤズライブ。

学生時代から通っているレコード店でいつも気になるジャズライブのチラシがあった。「おっ仙台にも玄人衆をうならせるミュージシャンが来るんだな」。毎回そう思われるラインナップだったからだ。ピアノの大石学に吉岡秀晃、テナーサックスの峰厚介、ドラムの本田珠也――。腕の覚えの一線級ばかりと言つていい。

店が届ける
イズ。

ステッキ店を営みながら、毎年
10回前後のライブを企画・運営
している木村卓也さんだ。

8畳間ほどの広さの店内には
約200本のステッキが並ぶ。

カーボン製の軽量タイプや折り
畳み式、黒檀や紫檀を使った重
厚感と強度のあるもの、ステッ
キを握る手元の部分にシリバー
製のライオンをかたどったり、
水牛の角で作られたりした高
価なステッキ、フランス製の↖

20年前に現在の場所で店を開いていたときからネット販売を中心としているという。「家賃の高い街なかに店を構えるのは太変だし、当時はネット販売に乗出しているステッキ屋がなかったんですよ」

“楽都”仙台でジャズライブを仕掛ける想い

パラドックスでの縁が
ライブを支え生み出す。



企画・運営し続ける情熱。
拘りのジャズライブ。

店ウォーキング」とある。ステッキ屋さんとジャズの組み合わせが頭の中で整合しない。「台原のステッキ屋さんだね。会場を借りたり自宅を使ったりしてライブを開いてるんですけど」とレコード店主。

いずれにしてもこだわりの強い
人なのは間違いないだろう。ス
テッキを振り上げて追い掛けら
れたらどうしようか。台原の静
かな住宅街にある自宅兼店舗の
ドアを恐る恐る開けると、物腰や
柔らかな紳士が出迎えてくれた。

バイブルを使込んだステッキまである。ちょうど、上品な高齢の女性が訪れてステッキの調整を頼んでいた。「売り上げの8割はインターネットでの販売です」と注文は北海道から沖縄まで、全国から来ますね」と木村さん。

1～3回はライブを開催していく。深夜になると他の店での仕事を終えたバンドマンたちが三々五々集まつてくる。ジャズミュージシャンのたまり場のような店だった。

店に出入りしていた仙台や東京を拠点とするミュージシャンたちが、また別のミュージシャンを呼び、人脈が広がつていった。こうしてつながつていった縁が、木村さんが仕掛けるジャズライブを支えている。

a・b／自宅リビングには1000枚超のレコードが並ぶ。c・d／静かな住宅街にあるステッキ・杖の専門店「ウォーキン」。店の裏手にある自宅をライブ会場にすることもある。

本物のジャズの魅力を仙台に届ける

かつて仙台はジャズが盛んだった。

もちろん、その背景には戦後駐屯していた米軍の存在があるだろう。

プロのミュージシャンが「仙台のアルトサックスの第一人者」と認める

「1960年代の仙台は演奏の場が多くて、東京からも

売り出し中のミュージシャンが3ヶ月単位とかで来ていました。

戸祐三郎さんは、木村さんが経営するパラドックスに出演していた一人だ。

「戸祐三郎さんは、木村さんが有名になつた定禅寺ストリートジャズフェスティバルが

毎年開催されるなど、仙台は音楽が盛んな街と言われることもある。

確かに市民が演奏を披露して楽しむ場は増えた。

しかし、ことジャズに関する限り、

日常の中でより質の高いプロの演奏に親しめる場はめっきり減った。

木村さんが店を開いた頃、日常的にジャズのライブが聴ける店は3カ所あった。すでに仙台のジャズ全盛期は過ぎていたが、ライブだけでなく、

ひと仕事終えたミュージシャンたちが深夜に

ジャムセッションを繰り広げることができたパラドックスは、

ミュージシャン同士が交流し、切磋琢磨できる貴重な「場」だった。

「こういう曲をやつてほしいとか注文を付けたりはしなかったですね。

ミュージシャンが好きなように演奏してもらおのがいいと思って」と木村さん。

肩肘張らずに演奏できる場がつくれれば、

ミュージシャンはハイレベルなしっかりとした音楽をしてくれる、

それは聴きに来たお客様の満足につながる。

家庭の事情でパラドックスを閉店し、ステッキ専門店に転身してからも

「ジャズをちゃんとやりたい人に場を提供したい」と、

年10回ほどのライブを企画・運営し続けている。

日程の調整やミュージシャンとの交渉、楽器の運搬や会場の準備――。

すべてを一人で行う。ときには自宅にミュージシャンを泊めることもある。

今も貫いているのは「ミュージシャンのやりたいように演奏してもらおのがいいと思って」と木村さん。

7月初め、仙台市中心部にある「ジャズミーブルース noLa」を会場にした

ライブは、木村さんの創り出す「場」がミュージシャン同士の出会いを導き、

新たな音楽を生み出していることを実感させるものだった。

アルトサックスの林栄一とピアノの大口純一郎という

日本を代表するベテランミュージシャンが入ったカルテット。

以前、仙台で林さんのトリオの演奏を聴いた大口さんが

希望して実現した組み合わせだ。

ミュージシャン同士が望んだライブだけに「層演奏に熱が入る。

ぐいぐいと引き込まれていくような演奏が繰り広げられる。

音に聞き入っていた私の耳に、ふいに木村さんの言葉がよみがえってきた。

「『うわっ、すごい』と思う経験がないと自分の中に入つてこないでしょ。

ジャズは難しいとか取つきにくいと思われがちだけど、

実力があつてちゃんとやつてるプロの演奏を聴けば、

なじみがなかつた人でもジャズに親しむきっかけになると思うんですよ」

それは聴き手の耳を肥えさせ、音楽を楽しむ素地をつくる。

ミュージシャンを信頼し、最高の演奏ができる場をつくる。
たとえ前の会場がなくても、耕してきたネットワークを武器に
仙台のジャズ文化に厚みを加えるための木村さんの奮闘は続く。



生でこそ味わえる プロの凄味

白津 寄席をやつててわかるのは
空気感なんですよね。プロの人たち
が出す空気感がお客様に伝わるか

ら、どんなにいい落語のCDにもないものが味わえる。
木村 ジャズはアドリブですから同じ演奏はないんです。もちろん出来がいいときもあれば、悪いときはあるんですけど。出来がいいときはミュージシャン自身も乗りに乗って、すごい高みに達することがある。すると聴衆も真剣に聴いてくれるし、そういう中でミュージシャンの表れる。瞬間のひらめきみたいなのがある

表れる。

白律

お客様の
乗りによって
高みが出てくる。
最近だと6月に松島の瑞巖寺の落慶
法要の一環で行われた桂歌丸師匠の
高座があつたんですが凄かった。ご
存知のように体調を崩して入退院を
繰り返していて、控室でもひどそう
で、予定していた怪談は長いからも
う少し短い嘶にとなつて、「紺屋高
尾（こうやたかお）」という、花魁
と紺屋職人の恋愛話をやつたんです
が、これが絶品でした。落語には、
お客様の雰囲気をみてどんな嘶を
やるか決める、



A photograph of a man with light-colored hair and glasses, wearing a dark jacket over a red shirt, playing a saxophone. He is looking down at the instrument. The background is dark, and there is some stage lighting visible.

やつぱり人集めは 大変だ

言一尺也

もう二の意味がある(笑)

あること。

落語家や
ミュージシャンが
普通に街を歩いてる、
そんな異空間を
つくりたいですね。

木村 やっぱり日常的にライブをしたり、ミュージシャンが集まつたりできる空間がほしい。1000人ぐらい入るスペースを共同で運営できないか、何年か前から考えてるんですけどね。ちゃんと音楽をやっている連中をちゃんと聴ける場所です。そこでコミュニティーをつくって、東京の連中と仙台の連中がセッションができますから。

白津 運営するのは大変ですけどね（笑）。いまやつてる寄席も赤字だったりトントンだったり。そこは脇で営業をとつてました、他の事業をうまくやつたりしてトータルで黒字にする。でも、いくらお金があるともできるものではないですよ。寄席やライブを商元と考えて稼ぐことを念頭に置いたら続かない。

ハートというか、
お客様の笑顔を見ることに、喜びを感じる、

喜びを感じる

a／7月のライブでは日本を代表するアルトサックス奏者の林栄一さんが登場した。*b*／魅知国仙台寄席の様子。江戸落語 春風亭吉好。*c*／ジャズと落語のおもしろさと企画・運営の楽しさについて語る。左から、吉好さん、吉田さん、吉田さん、吉好さん。

週
5
日
は、
世
界
戦。
。



輸出額、年間約6,000億円。
東北にも、日々世界を相手に働く人たちがいる。

29

コピー／工藤 拓也 写真／嵯峨 倫寛 デザイン／菅野 恵



28

現状の名刺

背景が華やかな名刺。



*過去5年間で使用された名刺です。



※東西線開通に合わせて、2015年に使用されていた名刺です。

CASE 1 上は担当部署である交通局の方、下は教育局の方の名刺。異なる部署を連想させるマークは、名刺をもらった相手を混乱させてしまう原因となる。それが全般的にPRが必要な事業ものであっても、入れるのは避けるべきだろう。マークを統一する場合は、市のミッションなど部署が特定されないものにする必要がある。



CASE 2 6枚すべて、同一部署に所属する方々の名刺。「伊達政宗」と「杜の都仙台市」、大きく2種類のロゴマークが入っているものに分けられる。さらに、それぞれのマークごとに見ても、サイズや色使い、入る位置がバラバラ。仮に事業特性から1つのマークに統一することが難しいとしても、見え方を揃えることで部署としての統一感を出すことができる。

**違いいろいろ
バラバラ名刺**

ス 自分でデザインしなかった方もいたりするんですか？
梅 いるかもしませんが、プロがつくるものには遠く及ばないものが大半だと思います。

ス そうですね。しかし、自分でお金払ったりデザイン決めたり、大変ですね。

ス そして、ルールが独特。民間企業とは全然事情が違うんですね。

ス が違うんですね。片方は教育委員会だ。
梅 こういうこともありますね。

ス 担当部署発信で、事業やプロが使ったと

梅 ホントです。もっとサクサク進めてください。
(おひしそうなのに怖い…)

ス すみません。では、集めてみたものを見せていただきましょうか。
梅 本当にいろんなデザインがあるんですね。

ス 同じようなデザインでも、微

梅 妙に字の大きさとかフォントの種

ス 類が違っているのが気になります。

ス ここで東西線名刺、全然部署

梅 が違いますね。片方は教育委員会だ。
ス これが違うんですね。片方は教育委員会だ。
梅 一方で、こういうケースもありまして。
ス ロゴマークは何となくそろつ

梅 てているけど、入り方がバラバラだ。

ス サイズも色の使い方も微妙に

梅 違っていますね。

ス これは、金剛的に「このマーク

梅 を使いましょう」と声がかかった

ス ケースだと思います。ただ、サイズ

梅 や色使い、入れる位置までは決め

ス られていません。

梅 でも、使う側が意識してい

ス ますよ。

梅 はい。やつてみましょ。



顔写真入りのものも。



紙向きの名刺もあります。

マークやキャラクターも様々。

Q5 組織として名刺のデザインが統一されていないことをどう思いますか?

「統一した方がよい」と答えた人の理由抜粋: 表面はフォントも含めた統一デザインとし、裏面は各部署のPR用に自由に印刷可とするルールを設けるのが適切であると考える。/局によってPRしたい事業が異なることから、一定の基本デザインは定めるにしても、ロゴなどを自由に入れる余地は残した方がいいと思う。/もしも名刺のデザインの統一化を図るのであれば、ベースは統一して、季節や部署によって違うデザインを採用するなど、さまざまな仙台のPRができるような遊び心を加えてみるのもいいかもしれない。

「バラバラでよい」と答えた人の理由抜粋: 課・係によって発信したいメッセージがあると思うのである程度自由でよいと思う。/市として統一のデザインもあると便利だが、一方で部署が持っているロゴやイベント・キャンペーン周知のために期間限定で使いたいデザインもある。用品封筒のようにいくつかのパターンから選べるようにはどうか。/個性があることより、市民に覚えてもらいたい。/個性が出るし、そもそも名刺は部署内や名前、連絡先がわかれば問題ないから。

Q6 名刺のデザインが統一されていないことで、何かデメリットがあると思いますか?



半数以上は「デザインの統一」に前向き

梅 回答者のほぼ全員が名刺がバラバラであることを認識している(Q4)にもかかわらず、統一した方がいいと考へている職員は58%にとどりました。

ス ある意味正しい選択ですよね。名刺のデザインを決める作業は本務ではないわけだから、「コストが小さいに越したことはない。その傾向がつかめたのは大きいですね。そうですね。ただ、それでも印刷とは別にデザインを外注する職員さんはいませんよね? ゼロではありませんが、あまり聞いたことはありませんね。

Q4 仙台市では職員によって名刺のデザインがバラバラなことはご存じでしたか?



Q2 名刺は職場から支給されていますか?



Q2-1 印刷はどのように行っていますか?

部署内にあるプリンターで出力	印刷会社に発注	その他	回答なし
134人	96人	46人	69人

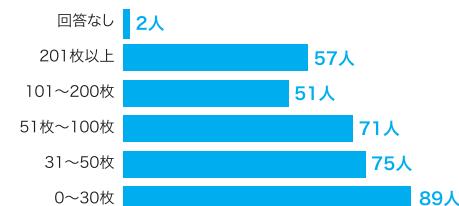
Q2-2 年間いくらくらいかかっていますか?



仙台市職員の方 345人に聞きました。

経済局 101人 / 都市整備局 51人 / 文化観光局 46人 / 消防局 23人 / 健康福祉局 22人 / 建設局 15人 / 環境局 14人 / 青葉区 12人 / 若林区 11人 / 総務局 11人 / 危機管理室 1人 / 教育局 7人 / まちづくり政策局 6人 / 財政局 6人 / 市民局 5人 / 子供未来局 5人 / 宮城野区 3人 / 太白区 2人 / 泉区 1人 / 人事委員会事務局 1人 / 水道局 1人 / 交通局 1人

Q1 現在の部署で、名刺は年にどれくらい使用しますか?

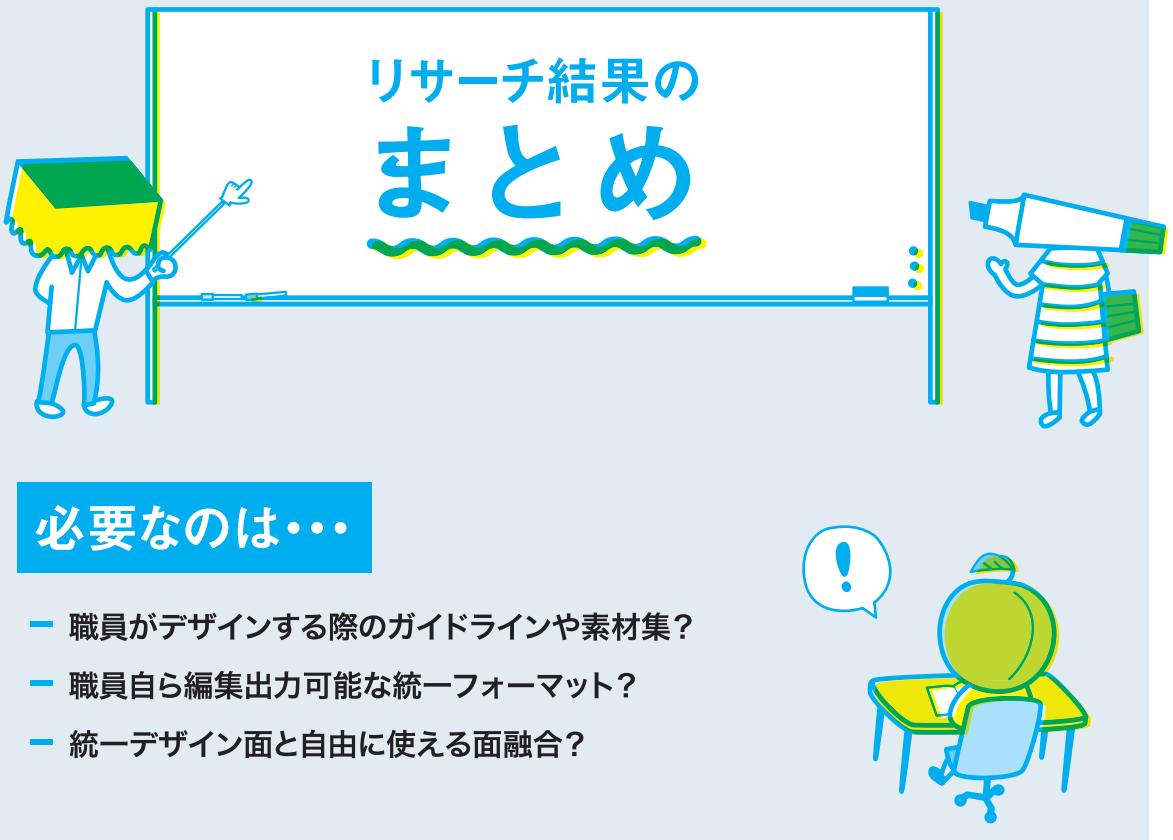


お金も時間もかけない徹底した低コスト志向

梅 先日、名刺の製作費用を自己負担している職員がほとんどだとお話しましたが、やはりその通りの結果でした。345名中274名なので、79%になります(Q2)。また、年間の使用金額では3000円以下が全体の約60%でした(Q2-2)。

アンケートからわかったこと

- 仙台市役所職員の多くは、**自費**で名刺をつくっている
- 公式のデザイン**がないため、統一しようにも難しい
- お金**も**時間**も、名刺にかかるコストはできるだけ小さくしたい
- デザインの統一に前向きな職員が多いが、ある程度の**自由度**も求める声も少なくない



必要なのは…

- 職員がデザインする際のガイドラインや素材集?
- 職員自ら編集出力可能な統一フォーマット?
- 統一デザイン面と自由に使える面融合?

次号予告

コスト面や製作の仕組みまで踏み込みつつ、仙台市役所にとって最適な名刺を考える「デザイン検証編」をお届けします。

マ よろしくお願いします。
梅 ありがとうございます。楽し
ます。
ス ある程度かたちになつたら、
また提案伺いますね。
梅 ありがとうございます。楽し
みにしています。

仙台市にとって
最適な名刺とは
といねいなリサーチと分析の
おかげで、だいぶ現状を理解する
ことができました。
梅 いえいえ。「仙台市役所の現
状」と言うには、少し回答者数が
少ないかもしれません、大きな
ズレはないと思います。
ス そうですね。では、いったん持
ち帰させていただいて、デザインは
もちろん、コストの部分についても
何かいい方法がないか検討してみ
ます。

梅 40%くらいはいますね。ただ、
理由の大半が「個人の好みがあ
る」とか「個性を表現した方が覺
えてもらいややすい」といったもの
で、統一するメリットを上回るもの
ではないと感じました。

ス 説明すれば、納得してもうそ
ですね。
梅 はい。ただ、「費用が自己負担
だから、自分の好きなデザインの
統一するメリットをきちんと

ス 真意と背景
「デザインに満足」の
満足派 78%
不満派 19%

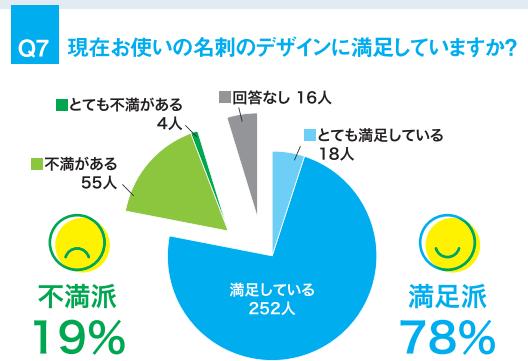
梅 一方で、今使っている名刺デザ
インに満足している職員が270
人、84%もいることもわかりまし
た。(Q7)

梅 一方で、バラバラでよいと考え
ている職員さんも少くはないで
すよね。
梅 40%くらいはいますね。ただ、
理由の大半が「個人の好みがあ
る」とか「個性を表現した方が覺
えてもらいややすい」といったもの
で、統一するメリットを上回るもの
ではないと感じました。

梅 それはばもつともな主張です
ね。デザインを統一のために、そ
こもクリアする必要があります
ね。

梅 一方で、今使っている名刺デザ
インを統一すると、結構なことと相
反する結果だなと感じました。
梅 一方で、今使っている名刺デザ
インに満足している職員が270
人、84%もいることもわかりまし
た。(Q7)

梅 一方で、バラバラでよいと考え
ている職員さんも少くはないで
すよね。ただ、費用が自己負担
だから、自分の好きなデザインの
統一するメリットをきちんと



こんな意見もありました／

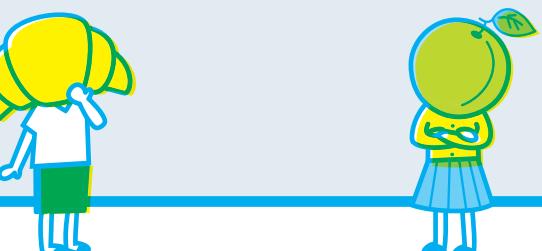
基本的に名刺は、業務上必要なもので支給されるべきものだと思います。支給が難しいことも理解はできるが、「市として伝えたいことを伝えるツールの一つとして支給する」という風にすればいいと思う。

某大手広告代理店さんの名刺は両面印刷ですが、裏面は会社ロゴのみカラー1色でカラーバリエーションがあり、その会社のさまざまな部署の方から名刺をいただくのがコレクション感覚で楽しかった。仙台市職員の名刺も「もらって集めたくなるデザイン」だと市役所のイメージもよくなるかもしれない。

業務上名刺をたくさんいたくが、その後の整理と部署内での共有方法に悩む。特定の業務に関連のあるものは、コピーし起案文書と一緒に保存するが、年限が過ぎれば廃棄されてしまうし、保存したことを忘れれば人脈としてなかったことになる。部署ごとに、体系的に名刺データを保存できるシステムがほしい。

個人で発注するのは非効率なので、統一されたデザインで年に1~2回部署ごとに必要枚数をまとめて発注するのがいいと思う。

名刺はきれいにつくりた
いで印刷屋さんに外注
したいが、最低ロットが
100枚からだと使いき
れないため自前でプリ
ントしている。



外国人の視点？

富んでしまはず
だとしたら、外国人の方たちは、
仙台・宮城という地域をどのように
に見ていいのだろう？
そんな興味から、彼らの視点に
着目し、その魅力や可能性について
て考えてみたいと思います。

達成 徒かたで外国へのアビを見
かけることが多くなりました。

3 まとめ 国際交流のヒント ともに地域で生き、 暮らしさを豊かに

2 インタビュー YouTuber/ ダヴィデ・ピッティ 母国イタリアへ、 仙台のリアルな姿を伝える P43

1 仙台・宮城在住外国人 クリエイター座談会

私たちの仕事、
私たちのコミュニティ

P40

数字で見る！仙台在住外国人

仙台市民の 100 人に 1 人は外国人
仙台市総人口 1,058,610 人のうち、
外国人は 11,867 人（平成 29 年 7 月 1 日現在）
出典：仙台市住民基本台帳（市民局広聴統計課資料）

仙台に住む外国人の約 20% が留学生 * 仙台市外国人登録者の在留資格別割合
留学 22.6%、永住者 19.6%、特別永住者 14.4%、家族滞在 10.1% 就学 7.8%、
日本人の配偶者 6.9%、教授 4.0%、その他 14.6% (平成 22 年 4 月末現在)
出典：外国人支援を中心とした東日本大震災への対応について(仙台市市民局民協働推進部交流政策課資料)

MEET THE NEW LOCAL

ミート・ザ・ニューローカル

ミート・ザ・ニューヨーカル

企画：小林知博、鈴木瑠理子、大林紅子 文：鈴木瑠理子 デザイン：小林知博 写真：嵯峨倫寛





▲ ティロさんが運営する「Tohoku Local Food Cafe」の様子。2016年1月26日に開催した edition 8 のゲストは、山形県朝日町でりんご農家を営む古田さんご夫妻。

「は、宗教はもっと人に寄り添うことができるのではないか」ということでした。現地に行って、それを自分で確かめたかったんです。

展覧会ガイドなどを書いています。時々、「記事を読んでこの場所を知りました」といった反応をもらっていますが、最近、とてもびっくりしたことがあります。登米市東和

重な文化なんだ」と伝えることでも、地域の人も、自分たちの伝統のユーモアを再認識できるんじゃないかなって思っています。記事を通じて、地域で守りたいという気持ちもありますね。

の人と共有する機会が持てるといいですね。日本の食文化には海の声は欠かせないです、海と自分たち住む地域との関係を考えるきっかけはなればいいなと思います。

“東北での暮らしをより充実したものにしてほしい”という考え方のもとで、朝日町のりんご農家など、いろんなゲストをお招きしました。「はつと」の回では、参加したフランス人の方がすごく興味を持ってくださって、ゲストに食い入るように質問されていましたね（笑）。パスタと同じ小麦からで作っているのに、形状も食べ方もまったく違うので、とても驚いたようです。生産者の方に「アが生まれる新鮮な機会になつてい」とつても驚いたようです。

町米川に、男の人たちが藁の装束をまとって町の家々に水を撒く「米川の水かぶり^{*2}」という火伏行事があるんですね。毎年県内外から見学客が訪れるのですが、行事に参加できるのは五日町という地域の男性のみという伝統があつて普段は外部の人が取材に入ることが難しいんです。でも、BAKKE^{*3}の方に依頼をいたしまして、町の方々と交流しながら、特に行事の支度の様子などを記事に書く

ザンダー 僕は今、フリーの時間は効率よく充てていることが多い、なかなかカメラマンの活動はできていないんで

▲アリーセさんが取材した、2017年2月の「米川の水かぶり」。



▲アリーセさんが取材した、2017年2月の「米川の水かぶり」。

1 ＼仙台・宮城在住外国人クリエイター座談会／

私たちの仕事、私たちのコミュニティ

仙台・宮城という地域で、個性を活かしながら活動する3人に、それぞれの取り組みや、地元の人と関わることについて語り合っていただきました。

Photographer
ザンダー・マグロサー
Xander McGrouther 

Writer
アリーセ・ドンネレ
Alise Donnere

Translator
ティロ・ケルンヒエン
Thilo Kernchen

1985年イギリス生まれ。村田町でALT^{＊1}として勤務。水中生物を撮影するカメラマンでもあるが、現在はALTの業務と勉強に専念している。かつては映画の音響制作や録音に携わるほか、イベントなどの照明技術者としても活動。マーベルコミックス原作映画の大ファン。

1987年ラトビア生まれ。東北大学大学院文学研究科宗教研究室博士課程後期在籍。外国人に仙台の多彩な魅力を伝える英語のwebサイト「Sendai Motions」のライターとして活動中。地蔵信仰や仏像を研究し、県内の神社仏閣のほぼすべてに訪れている。一児の母でもあり、子育てにも奮闘中。

1988年ドイツ生まれ。株式会社コミューナ勤務。通訳や翻訳、イベント企画を担当。相手の思いや意図を汲み、コミュニケーションを促すことが得意。目標は、多くの言語を活かして人生を豊かにすること。今回の座談会では、日本語を勉強中のザンデラさんの通訳も務める。



ザンダー 僕も、日本語を勉強したいと思つたことが一つのきっかけです。今は村田町でA-S-T-R-I-L-L-Eでダイビング写真を撮るカメラマンをしていましたので、日本でも撮りたかったんです。でも、今は仙台・宮城の魅力もすこしづつわかつてきました。

アリーセ 私は震災を機に、仙台への留学を決めました。テレビで被災した様子を見て、「あの場所に行きたい」と思つたんです。今でこそ、津波で流されたお寺を建て直すといった活動もありますが、当時私が考えていました。

――仙台・宮城に来たきっかけを教えてください。

*3 一般社団法人 BAKKE…登米の地域文化や伝統の保存・伝承、国内や海外からの訪問客と地域住民との交流などを行う団体。

*4 The American Museum of Straw Art・カリフォルニア州ロンゲビーチにある藁細工の博物館。世界各地でつくり出された藁細工を展示し、地域の民俗文化や歴史、制作技法やその芸術的価値を伝える。

*1 ALT…外国語指導助手（Assistant Language Teacher=ALT）

*2 米川の水かぶり…毎年2月に行われる、登米市東和町米川に伝わる火伏行事。五日町の男性たちが藁の装束をまとい、顔に煤を塗った姿で町を廻り、家の前に置かれた手桶の水を撒く。国指定重要無形民俗文化財。



2

YouTuber
東北大学大学院イタリア人留学生
ダヴィデ・ビッティ

撮影協力／仙台朝市商店街振興組合

インタビュー

母国イタリアへ、仙台のリアルな姿を伝える

動画共有サイト「YouTube」で、仙台の文化や日常
様子を発信するチャンネル「Vivi Giappone」を運営す
るダイナさん。取り上げるトピックは、七夕まつりから
立ち飲み居酒屋の店主やお祭さんへのインタビューなど
さまざまな角度から日常の様子を捉えたものばかり。彼
がユニークな視点に迫るべく、お話を伺いました。

――仙台の文化や日常をYouTubeで発信しようと思つたのはどうしてですか？

せっかく仙台に留学することになつたので、母国イタ
リアに向けて日本の生活の様子を伝えよといつたんですね。
日本を紹介するイタリア人のYouTuberはほかにもいっ
たるけれど、寿司を食べる姿を撮つたり、原宿
に行つたり、みんなトピックが同じなんですね。
文化や歴史を細かく紹介している人はほとんどない
ない。だから、僕は自分が住む仙台から、日本
の大学生活はどんな感じか、どういう伝統があ
るのかといったことを、詳しく伝えようと思った
んです。僕は寿司屋さんに行つても、自分が寿司
を食べている姿は撮りません。なぜ「握り寿司」
「手巻き寿司」という名前なのかなど、特徴を
できるだけ細かく説明しています。イタリア人が



▲ ダヴィデ・ビッティ (Davide Bitti) | 1985年イタリア生まれ。東北大学大学院文学研究科日本思想史研究室博士課程前期在籍。2010年に同学へ留学。東日本大震災により一時帰国するも、復興ボランティアを経て15年に再び留学し、現在に至る。大震から見る災害と伝説の関係について研究中。

◀ Vivi Giappone (ビビ・ジャッポーネ) | 2006年の開設以来、仙台にまつわるバラエティ豊かな動画を発信している。現在は登録者数 1万 7000人、視聴回数 200万回を超えるほどの浸透ぶり。週に数回のペースで精力的に更新中。URL : <https://www.youtube.com/user/ayasustanaN>

——アリーセさんは、大学院を卒業した後の仕事について、どのように考えておられますか？

人は少し相手と距離を取るような感覚がありますよね。持続性のある関わりを築くには、目指す地点と、今いる地点の中間の場をつくる必要があると思います。

友達の方がが多いかな。幅広く人が
ついている方が、刺激になつておもし
し、そういうところが自分の居場
なつっていると思うけれど、日本の
出会いの機会は少ない……。

人の集まり所にいる人が多い。元の人のようになろうとしなくていいと私は思うんですよ。例えば、和食が好きだったとしても、子どもの頃から味わっている感覚と、20歳の時に初めて食べて「おいしい」と思う感覚は、やっぱりスタンスが違う。だから、お互いがどちらかに寄つていくのではなく、ちょっと視点が違つていくのではなれば、意外とコミュニケーションは取りやすいんじゃないかなと思います。

A composite image featuring a young man in scuba gear on the left side, holding a camera and looking towards the right. On the right side, a large whale shark swims gracefully through clear blue water, accompanied by a school of smaller fish.

▲ ザンダーさんがオーストラリアで撮影したジンペエザメ。

クグラウンドの違う人と関わることで、ビジネスに新しいアイデアを取り入れられるんじゃないかなと思うんです。ザンダー　さまざまな文化背景の人たちを受け入れた方が、世界は広がりますよね。そういうところに気づいてもらえるといいのですが。

は高齢の方が多いですし、言語の問題もあつて、同世代の友達をつくるのはなかなか難しい。仕事以外の場所で会っている人たちは外国人が多くみんな仙台に住んでいますね。

アリーセ 私の場合、関わっているたちは、日本人も外国人も半々く

るA-LTのための講座があつたのですが、その中のテーマに「どのようにすれば「ハリューニティ」の員になれるか?」というものがあつて、それに対する一つの提案が「スポーツクラブに入る」だつたんです。やりたいことが共通しているから、"外国人と交流したい"とい

OCAI

ともに地域で生き、暮らしが豊かに



Let's Meet the New Local!!

Case.1 外国人の方と触れ合う機会が少ないと



外国人の方が通うバーやカフェに出かけてみましょう。勇気を出してカウンターに座ると、店主の方や常連の方と話すチャンスが生まれるかも？

middle mix (青葉区国分町) | 日本語が上手なイスラエル人オーナーが腕を振るう中東・地中海料理の店。水タバコを楽しむこともできます。週一回、ペリダンスショーも開催。

<http://middlemix2010.com>

Northfields (青葉区国分町) | イギリス人と日本人のご夫婦が営むカフェ。おしゃれな雰囲気と本場イギリスのスイーツが魅力です。スコーン作り、フラワーガーランド作りなどのワークショップも不定期で開催。

<https://www.facebook.com/northfieldsjp>

編集後記

“素直な感覚”の大切さ

今回取材にご協力いただいた4人の方は、仙台・宮城という地域の中で、それぞれ違った興味を見出しながらも、ご自身が「おもしろい」と思う感覚を活動につなげているところが共通していました。もし、地元に暮らす私たちが、「仙台・宮城はどんな魅力がありますか?」と問い合わせられたら、どのように答えるでしょうか。すぐに思い浮かぶ人もいれば、言葉に詰まってしまう人もいるのではないかと思思います。

私たちの住む地域が、どんな場所であつてほしいか。将来、どんなふうになつてしまいか。そんなことを考える時、自分自身の“素直な感覚”で地域を見つめることは、大事なことなのかもしれないと思えさせられました。

私たちと異なる文化の中で培われた外国人の方の視点は、普段私たちが気に留めている物事のあり様を浮かび上がらせ、その魅力に気づかせてくれます。そして、それは私たちが日々営む暮らしの水面下に根ざす、地域文化の“芯”的なものが垣間見える瞬間なのがもしされません。

外国人の方たちは、私たちが地域のことをより深く知り、改めて暮らしについて考えるための手がかりを与えてくれる存在なのではないでしょうか。

まずは一步踏み出して、触れ合い、ともに地域で生きることについて考えてみませんか？

Case.2 外国語で交流してみたい、外国人の友達がほしい人は……



国際交流のサークルやイベントに参加してみましょう。いろんな人と気軽に会話を楽しめます！

HELLO WORLD | スポーツを通して外国語でコミュニケーションを取ることができるサークル。10代後半～30代の学生・社会人の方が多く参加。

<https://helloworld.international>

Sentia 国際化事業部 | 多文化共生のための地域づくり、人材育成に取り組んでいます。外国人の方の暮らしのサポートのほか、日本人の方も参加できる交流会や講座などを随時開催しています。

<http://int.sentia-sendai.jp>



Case.3 オープンなイベントを通じて、外国人の方と接してみたい人は……

語学のレベルや交流の仕方は人によってさまざま。誰でも気軽に参加できるイベントも開催されています。

せんせい地球フェスタ

年に一度、仙台国際センターで開かれる多文化交流の催し。世界各国の料理やステージ、交流・協力の活動紹介、ワークショップなどを通じて、さまざまな文化に触れることができます。今年も9月18日(月・祝)に開催。

<https://senfes2017.jimdo.com>

東北大学国際祭り

伝統衣装のショーやストリートパフォーマンス、郷土料理の屋台など、留学生によるさまざまなアトラクションを体験することができます。

LOCAL



—これまで一番おもしろいと思ったトピックはどんなものですか?

仙台一高・二高硬式野球定期戦のアピール行進ですね。生徒が大勢で、長ランを着たり仮装したりして街を練り歩くなんて、ほかのところで見たことがありません。すごくびっくりしました。あとは、仙台城やどんと祭の裸参り。ただ、僕が一番うまくできたと思う動画が、逆にあまり見られないという(笑)。例えば、石巻のサン・ファン・ハウティスター(笑)。例え、山鉾巡行に参加して、自分の目線から伝えたいと思っていました。そうしたら、「私も実際に山鉾巡行に参加して、自分の目線から参加できるかな」といったコメントをもらいました。

とはいって、一番見られているのは、日常生活の典型とも言えるスーパーやコンビニ、そして僕の住むアパートを撮影した動画ですね(笑)。「みやぎ生協」に行つて店内に並ぶ商品を説明する動画は人気があります。味噌や漬物、ビール、どれをとっても種類が豊富ですし、果物の値段の高さにはみんな驚きます。アパートの動画は、お風呂の追い焚き機能などの部屋の設備を紹介したものなのですが、視聴回数が10万回を超えるました。

—「Vivi Giappone」について、仙台の人からの反応がありますか?

取材をお願いすると、快く応じてくれる方が多いですね。あと、東北大学の図書館の方に声をかけてもらい、館内を紹介する動画を撮影したことがあるのですが、今ではそれが縁で、外国人に図書館の使い方を教えるための映像をアルバイトで制作している

知らない、実際に住まないと見えてこないような、日本の普段の姿を紹介したいんです。

—これまで一番おもしろいと思ったトピックはどんなものですか?

仙台一高・二高硬式野球定期戦のアピール行進ですね。生徒が大勢で、長ランを着たり仮装したりして街を練り歩くなんて、ほかのところで見たことがありません。すごくびっくりしました。あとは、仙台城やどんと祭の裸参り。ただ、僕が一番うまくできたと思う動画が、逆にあまり見られないという(笑)。例え、石巻のサン・ファン・ハウティスター(笑)。例え、山鉾巡行に参加して、自分の目線から伝えたいと思っていました。そうしたら、「私も実際に山鉾巡行に参加して、自分の目線から参加できるかな」といったコメントをもらいました。

とはいって、一番見られているのは、日常生活の典型とも言えるスーパーやコンビニ、そして僕の住むアパートを撮影した動画ですね(笑)。「みやぎ生協」に行つて店内に並ぶ商品を説明する動画は人気があります。味噌や漬物、ビール、どれをとっても種類が豊富ですし、果物の値段の高さにはみんな驚きます。アパートの動画は、お風呂の追い焚き機能などの部屋の設備を紹介したものなのですが、視聴回数が10万回を超えるました。

—では、ダヴィデさんにとって、仙台はどんな場所ですか?

第一の故郷かな。伊達政宗が築いてきた街の歴史があつたり、地元の人たちが「私は仙台の出身」という意識を持っていることが感じられたりと、仙台には独特のアイデンティティーがある。僕にとっては、住みやすくて楽しい、料理とお酒が美味しい街といふだけではなく、すごい歴史を持つている街。日本の中で一番好きな場所です。

ダヴィデさんと仙台朝市に行ってきました!



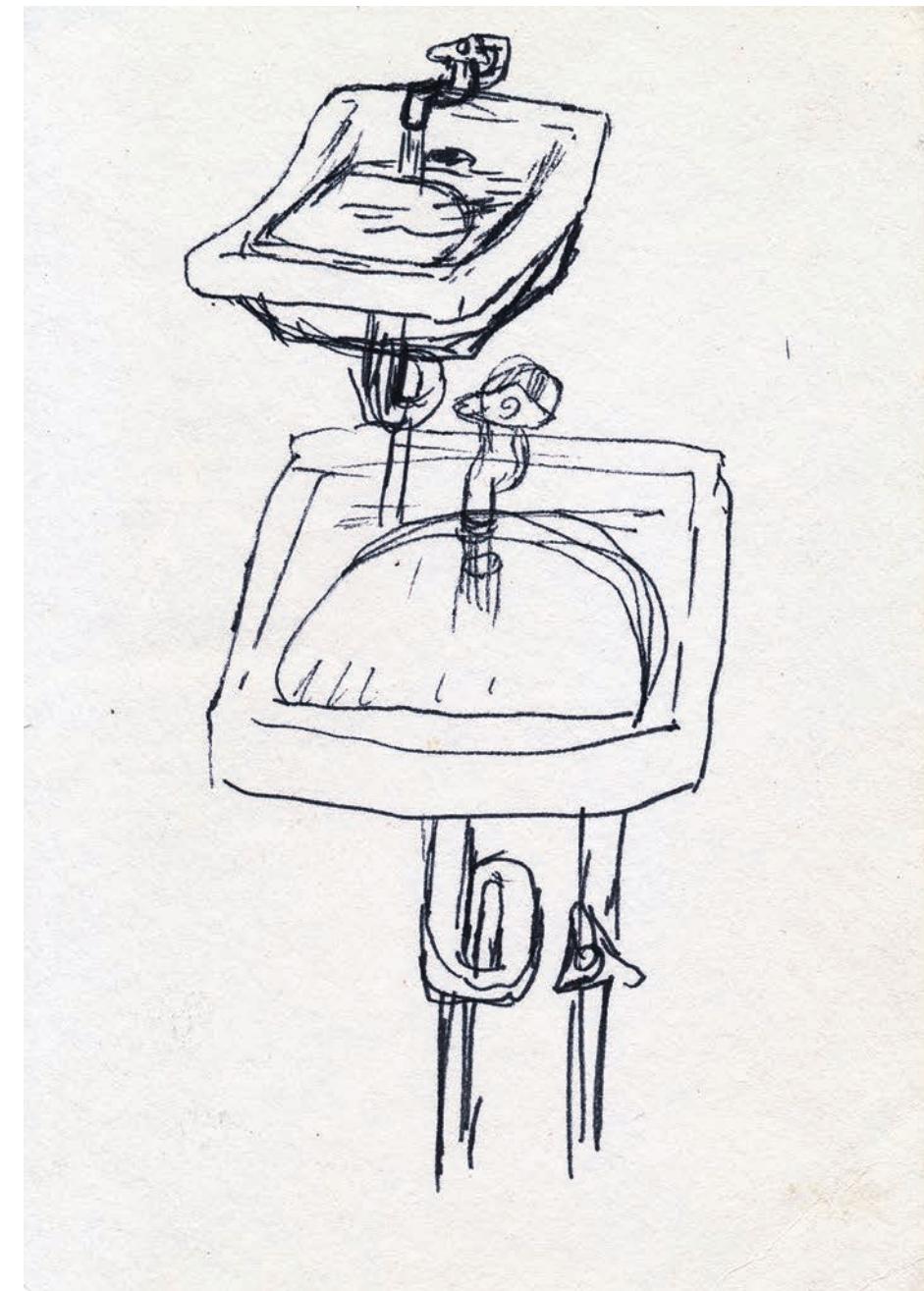
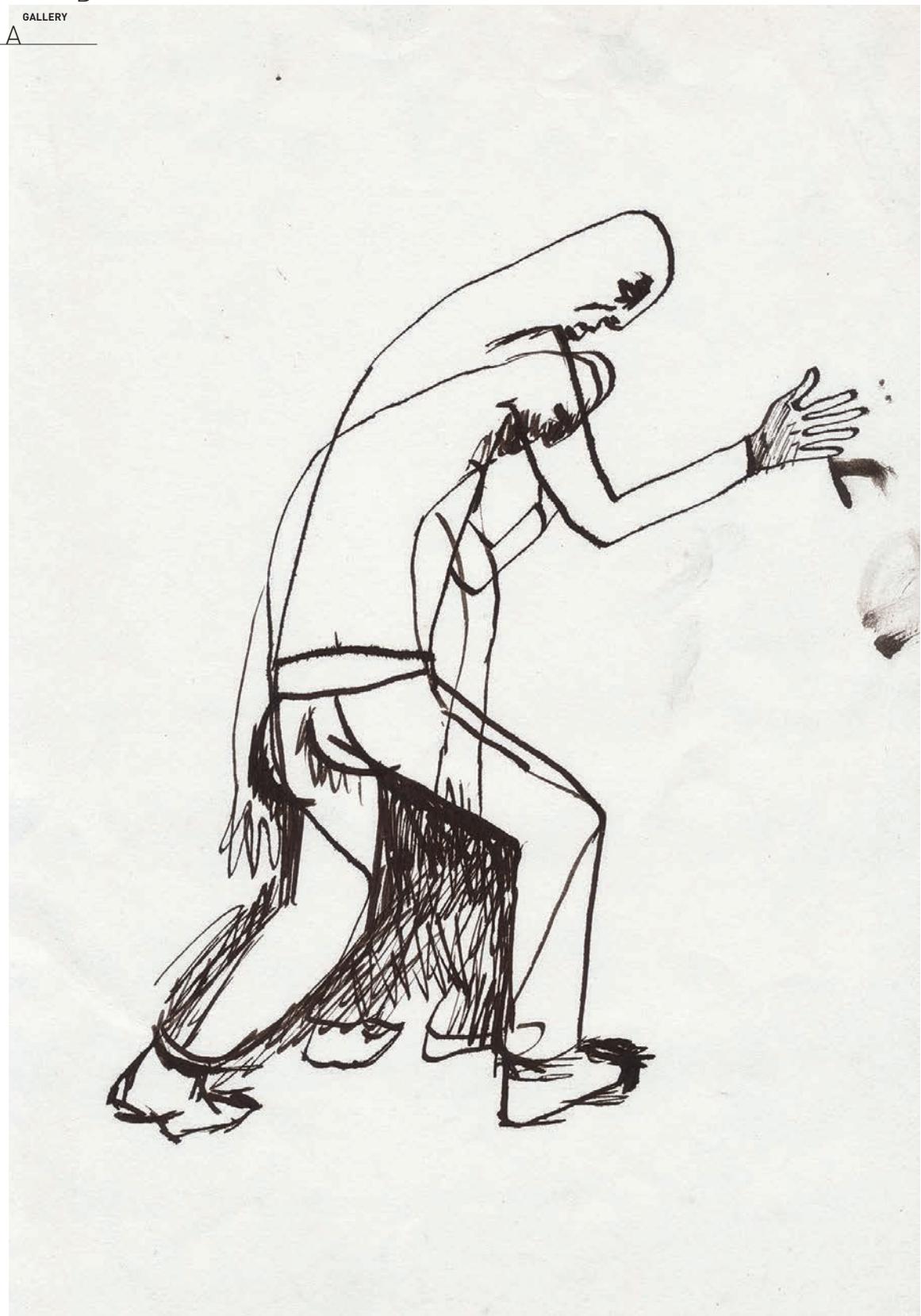
鮮魚・珍味などを扱う「*こがね海産物*」にて、主人の粋な計らいで「*禮の骨切り*」を見せていただけます。皮を断たずに細かく骨を切る職人技、ダヴィデさんも「すごい技術!」と感激した様子でした。仙台朝市のみなさま、ご協力いただきありがとうございました。

号の復元船を見に行った時は、イタリア人にはきっとおもしろいだろうと期待して、船内の作りや、慶長遣欧使節団について紹介したのですが、いまいち反応が薄くて……。日常とともに歴史や文化を伝えたいと思っていたのだけれど、なかなか難しかったです。でも、今年撮影した青葉まつりの動画では、実際に山鉾巡行に参加して、自分の目線から

とおもしろいだろうと期待して、船内の作りや、慶長遣欧使節団について紹介したのですが、いまいち反応が薄くて……。日常とともに歴史や文化を伝えたいと思っていたのだけれど、なかなか難しかったです。でも、今年撮影した青葉まつりの動画では、実際に山鉾巡行に参加して、自分の目線から

方の活動を知つていってくれて、「撮影してほしい」と連絡をもらい、取材を行つたこともあります。蒿麦の種撒きや、そば打ちの様子を撮らせてもらいました。みんなフレンドリーに協力してくれますし、喜んでくれている気がします。

ます。それから、通町の「青葉手打ちそば教室」の方が僕の活動を知つていってくれて、「撮影してほしい」と連絡をもらい、取材を行つたこともあります。蒿麦の種撒きや、そば打ちの様子を撮らせてもらいました。みんなフレンドリーに協力してくれますし、喜んでくれている気がします。



工藤夏海[くどう・なつみ]

—
1970年宮城県生まれ。美術と生活と社会のあわいで多様な表現活動を行う。
1997年人形劇団ボンコレラ結成。2011年より喫茶ホルン経営。yumboの管楽器担当。今年12月、個展「世の中グラデーション」開催予定。

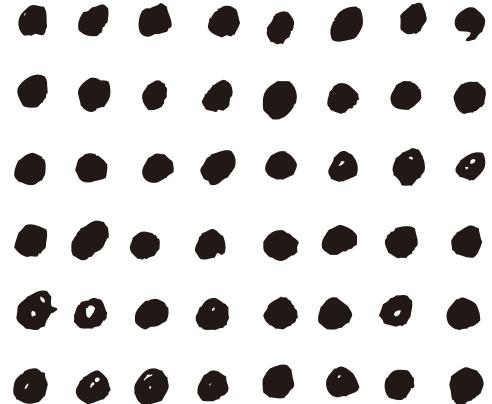
ドローイング: 残影シリーズ1[右]/残影シリーズ2[左]

購買と心

ある時期あるかなりの量の熱意と執着をもつて考えたものはもう恋と言つてしまつていいのではないか。と考えれば、これは昔の恋の話です。

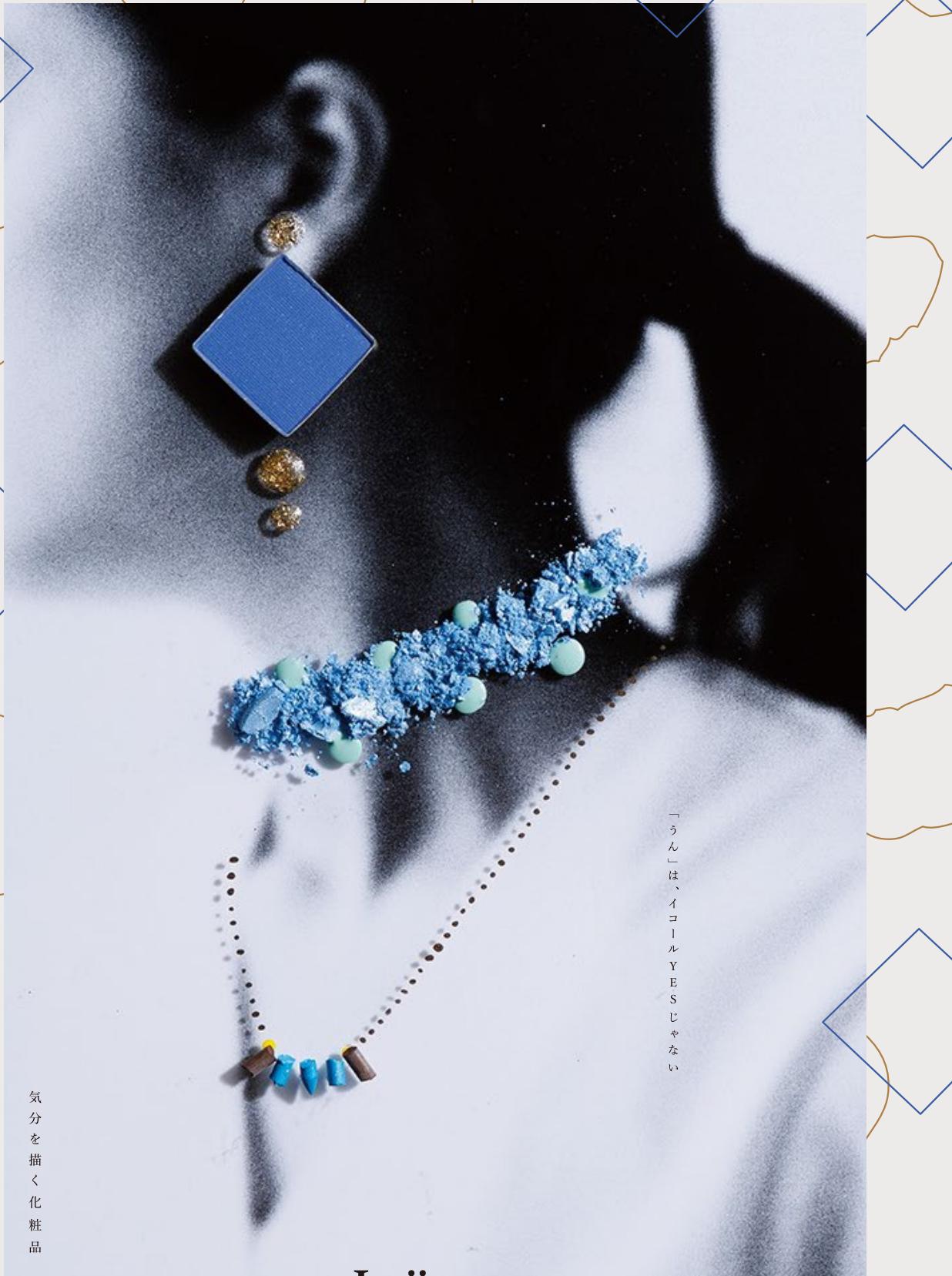
私の愛するA化粧品はその製品の口紅BにC国で採れる植物D Eから抽出される当時俄かに注目された成分F G Hを保湿成分として使っていたのだが実はこの植物D EはC国にのみ生育が確認される希少種で専門家間では絶滅危惧と生態保護が叫ばれており、にも拘らずC国は外貨獲得のために希少なD Eを売り捌き、一般の消費者はそんなこと露知らず、私はポッドキャストのニュースで非必然的に知った。

確かに口紅Bは中々良い使用感だった。でも実際、成分F G Hを使ってない口紅も別に悪いわけじやなし、たとえ他より良かったとして希少植物を犠牲にするつて割と暴挙に思われたし、今時環境的配慮もできないなんてAは趣味が悪いと思った。そうして私はその口紅を買うのを止めたけど勿論と言うべきかそれでも生産は続き、私は気疎い状況を変えるのに自分があまりに非力なことと良いと思うものを傍に置く行為が難ある活動に結び付き得る消費に居心地悪く感じ、そもそもど、自分の考え方を何とか伝えたいと思ひながらも、そうし損なつていた。想像してみて欲しい、この執着は恋だったことを。あなたが誰かを好きで、その相手に「あなたの趣味悪いと思う」



■企画・執筆……斧澤未知子
■企画・デザイン……根朋子
■撮影……嵯峨倫寛

《この広告と話はフィクションです》



Lüge

My opinion is as important as the opinion of "Lüge" that the eyes also shine dazzlingly. I did not want to imagine myself that I do not have it at that time, and I was afraid to lose "Lüge".

気分を描く化粧品

とズバリ伝えられるだろうか。私は嫌いな人にだつて難しい。その口紅のことがあれど、基本的には私はやつぱりAが大大大好きだつた。

(私にとっての) そんな趣味の悪さを持つAの、しかし何に恋というほど惹かれていたのかというとAはとにかく見た目が良かった。化粧品の容器もパッケージも広告も。ああ、私は昔から美形とにかく弱かつた! 人でも物でも一目見ただけで好きになる時には好きになつてしまふ。外形は一つのメッセージよね? 色んなことが読み取れる。内面が大事というけれど、自分もそう思つていると信じたいけど、だめだ時に外見は見る麻薬だし。Aはその全てのメッセージを巧みに操り、家の鏡の前に、化粧直しにボーチから取り出す手元に、あらまほしきはAの化粧品; とうつとり思い描かせた。Aを持つ自分は持たない自分より幾分か良いはずと思い描かせた。私は作る人じやないから、よほど意識的でない限り消費で自分の輪郭を描き出すことになつているこの世界で、目の前に並べられたものから選ぶ行為を通して私を作っている。私にできる私なりの美学を發揮する積極的な活動はその消費における選択行為だけなのだから、私はせめて選ぶ時にはできる限りに選り好みする。あなたは笑うかもしれないけれど、私は自分が持つものと自分が同一視されると感じていて、そんな私の目にAは見事に敵う容姿をして



Lüge

My opinion is as important as the opinion of "Lüge" that the eyes also shine dazzlingly. I did not want to imagine myself that I do not have it at that time, and I was afraid to lose "Lüge".

た、どころか私の願望を形にして見せられたみたいだつた。しようがない。

ところでもしかしたらこれは別に成分FGHを使うのを止めてという話じゃないかもしれない、使い続けたつていいのかもしれない、環境を壊さない方法であれば。するとこれはお金の問題かと思えてきて、つまりそういう方法を開発するのに

お金がかかります、それは値段に反映されてしまします云々。ところで私は自分が払える範囲なら、自分にとつて意味のある欲しいものが他よりも払えばいいと考えていて、比較的貧しく高くて、お金っていうのは血液で、あるにも関わらず使うところには大きく払う傾向がある。でも、だつて、お金っていうのは循環することで街の、国、世界の活動を回していくのが役割なんですよ？ 私のところでただ止めてもしようがなくて、私の活動に寄与して次に渡っていくもの。どうせ何かに使つて次に渡さないといけないんだし、だつたらと私は自分が欲しいものの価値を金額で相対評価することを止め、安いいものを手に入れたいという真当な考え方を泣く泣くながら手放す前の信仰の道を選ぶことにした。「できるだけ安いいものを」。何で道理の通つたいい考え方！ でも私の頭が操るにはどうも難しい理屈過ぎるようだつた。何かが何で安いかを見極めようと値段の奥の底知れぬ闇は全然私にはつきり見えてこないし、唯々よ

り安いものをと小さな数字を追いかけることで自分が欲しかったのかよく忘れてしまう。別に高いものを買うことが好きなわけじゃないけど、安いことがものを買う全ての理由ではないのよ。

だから、つまり、理由があつて高いということが理解できれば、私はそれでも買うのに。

しかしながらその気持ちを消費という行為の中でAに表現して見せるのは難しく、思い詰めた私は署名運動にまで参加してみた。微々たる存在感ながらウェブ上でこの問題を提起し署名を募つてているのを見つけたのだ。とはいへ平気だつたわけじやない。愛情故の私の細やかなこの行為は、しかし相手からその他烏合の難癖と一緒にくたに見られるんじやないかと不安だつた。署名活動というのが重要なわけで個々の名前なんかその夥しい量の塊に塗り込められて識別されるわけないし自分の名前が見出されるかもなんてむしろ自意識過剰な妄想、だらうけど、恋は盲目かしら、でも分からぬじやない？ 我が社の口紅成分への反対の署名がこんなに集まっています！ と眼鏡の秘書が紙束を手に駆け込む社長室、一瞥で「ふん、うるさいことを言いやがつて目障りだ」と

地下の保管庫に直行したその署名の束が今後私にとって都合の悪い折、例えば接客なんかの折に取り出されて、私を冷ややかに遇わさせる遠因とな

らないとも限らぬない？ と想像は膨らみ、そんなの切な過ぎると考えていた。

そう悩みを打ち明ける私に「それって対等な関係じゃないね」と友達は言った。「本当に良い関係なら短所を率直に伝えられるべきだし、それを受け入れられないような相手はむしろ付合う価値ないと思うけど。押売りの関係だね」。彼女はいつも美しく、そして正しい。正論だ。崇拜を盾に一方的に受け入れさせる関係なんて生産的じやない。

何事も、私の人生と相手の人生（それに世界！）を豊かにしていく為には互いの意見を出し合い、片方だけを飲むのじゃなくそれら意見の中間にあら落とし所を見つけ選び取つて行くべきで、たかが恋、たかが消費といったってそういう態度をしていく機会を内包している。それでも私は「分かつてたつてできないこともあるんだよ！」と足を突つ張っていたけれども、この不毛な恋から足を洗つた今なら分かる、そんなの全然甘んじて受け入れていいことじやない。私の意見は目も眩むほど輝いて見えるAの意見と同じくらい重要。あの頃はAを持たない私なんて想像もしたくなかったし、Aを失うのが怖かつた。しかし悲しいかな有難いかな恋なんて次をしたら忘れちゃうようなものであつて、あれももう過去の話である。Aのあの時代錯誤感は今頃木星のあたりを旅しているところかしら。（了）

斧澤未知子（おのざわ・みちこ）| 1984年兵庫県神戸市生まれ。スイスのチューリッヒ芸術大学でデザインのマスターコースに在籍する一方、出版社edition finkでアートブック制作を学ぶ。表現のための言語外言語について日々考えている。

執筆

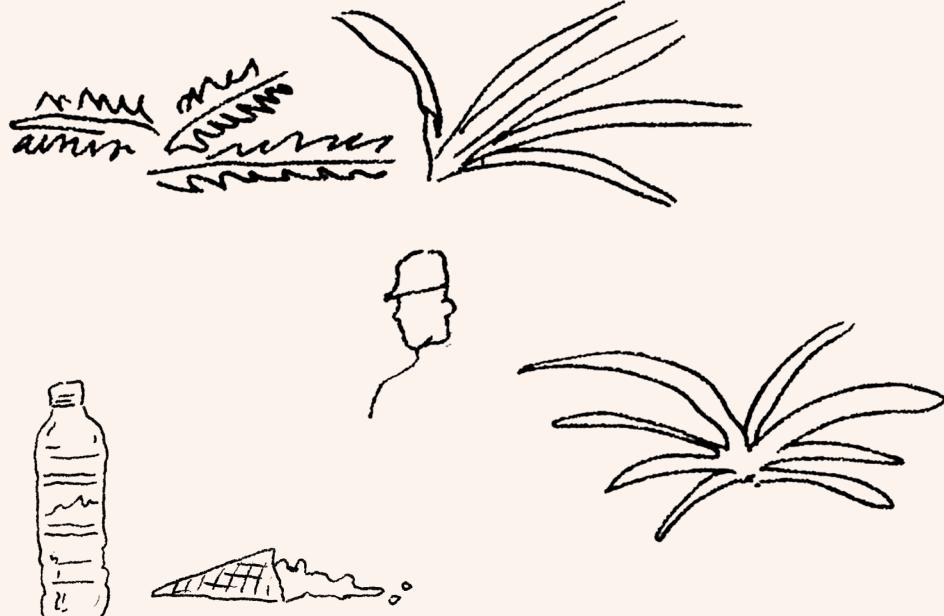
「ふん、うるさいことを言いやがつて目障りだ」と地下の保管庫に直行したその署名の束が今後私にとって都合の悪い折、例えば接客なんかの折に取り出されて、私を冷ややかに遇わさせる遠因とな

ていているところかしら。（了）

連載

雜草からパクチー

第1回



皮フ

皮フは少し透過するから 枕灯を吸収して

腕に生えているすこし太い毛の毛根は黒くてたくましくて
つまんで抜こうしてもまだあまり生えていてないから
中のほうへ根と毛の間のように生えていてなかなか抜けないから
それでも必死に抜こうとして間違って皮フをつまんだりして
さっきまで透過していたのに 赤くなつて組織は行方を暗まして
一体いまは何時だろうとふと我にかかる

「だから私は日産のバオ君で逃げたのです」

そんな古い車でどこまでも逃げられると思う

新しい車でしたってそうどこまでも逃げられる訳がない

「けれど、あのウイークエンドに走るホンダ赤いS800は・・・」

あるいはそうかもしれない

あるいはそうかもしれない

あるいはそうかもしれない

あるいはそうかもしれない

あるいはそうかもしれない

あるいはそうかもしれない

私は仕事中、雪国で過ごした夏なんか冬のかも解らない

寂れた歓楽街にある薄汚いスナックで働く老女を思い出して

私はなんだか懐かしくなった

懐かしさとはそれだけで

見聞きしたもののが私という人間をつくる

「じつはもう、逃げる場所なんて殆どないのです」

あるいはそうかもしれない

旬ではない読書

金井美恵子『愛の生活・森のメリュジーヌ』／小川洋子『シユガータイム』

小川洋子は十八歳の時に金井美恵子の『愛の生活』を読み、「自分もこういうものが書きたい」と思ったそうだ。ウィキペディアに載っていたのを読んだだけなので本当かどうか知らない。しかし、疑うべき点もこれと比べて見当たらない。今までどれだけの人が同じことを思つただろう。

去年の秋、知人に薦められて金井美恵子の作品を読んだ。新刊『愛の生活・森のメリュジーヌ』という短篇集から読みはじめた。この原稿を書くまで、「森のメリュジーヌ」を「森のメリエージュ」と思い込んでいた。よくこういった勘違いを脳が勝手にしている。「愛の生活」はわりと短い話なのですが読み終わり、次に「夢の時間」という話を読んだ。「愛の生活」に比べるとやや長く、またなかなかスムーズに読み進まなかつた。その頃、シユガーベイプの『SONGS』というアルバムを毎日どこへ行くにも聴いていて、「風の世界」という歌を聞くといまでも自分

されたそのシーンは生まれてから九歳までを過ごした故郷である相馬の風景だった。その風景は

小川洋子は十八歳の時に金井美恵子の『愛の生活』を読み、「自分もこういうものが書きたい」と思ったそうだ。ウィキペディアに載っていたのを読んだだけなので本当かどうか知らない。しかし、疑うべき点もこれと比べて見当たらない。今までどれだけの人が同じことを思つただろう。

去年の秋、知人に薦められて金井美恵子の作品を読んだ。新刊『愛の生活・森のメリュジーヌ』という短篇集から読みはじめた。この原稿を書くまで、「森のメリュジーヌ」を「森のメリエージュ」と思い込んでいた。よくこういった勘違いを脳が勝手にしている。「愛の生活」はわりと短い話なのですが読み終わり、次に「夢の時間」という話を読んだ。「愛の生活」に比べるとやや長く、またなかなかスムーズに読み進まなかつた。その頃、シユガーベイプの『SONGS』というアルバムを毎日どこへ行くにも聴いていて、「風の世界」という歌を聞くといまでも自分

が「夢の時間」という話の中にいるような気分になる。他の曲も聴いていたはずなのにどうしてこの曲に限ってそのような現象が起ころのかはよくわからない。そういえば同じ時期にユンボの『鬼火』というアルバムもよく聴いていたが、「人々の傘」という歌を聴くと、帰宅途中にウィルキンソンの炭酸水三本とあまり美味しいらしいサラダが入ったスーパーのレジ袋を持って「目黒銀座商店街」を歩いている自分が浮かび、シャッターが降りたラーメン屋の入口にスープ地で深紅のセットアップを着た男と、綺麗なドレスに高いヒールの靴を履いた女がいて、二人は酔っ払っていてシャッターに寄りかかりながらお互いがくつてしまいそうなほど顔を近づけて何か話している。僕は端レジ袋に入っている炭酸水とサラダがかわいそうに思えてくる。

僕が九歳の時に見た景色のまま時間が止まっていた、一九九九年の相馬市に注ぐ太陽の光はとても眩しくて白く、ほんのり青みがかったて街全体がいかにも希望で満ち溢れているような色をしていた。ホテルは「中村城跡」で、旅行案内所からの道のりは「N.T.T」と「相馬市役所」が並ぶ国道一五号線を歩いて五分程度で着いてしまった。後になって気が付いたがその妙な時間感覚は「夢の時間」にも通ずる。しかしだからと放されるといった具合が長く続いた。後になって気が付いたが、ずっと真っ直ぐ歩き、母校の中学校第一小学校の前に設置されている歩道橋の下をくぐる。実際に歩けば五分程度で着いてしまうほどの距離だが、その道は「夢の時間」の内容に合わせて都合よく伸び縮みした。

僕が九歳の時に見た景色のまま時間が止まっていた、一九九九年の相馬市に注ぐ太陽の光はとても眩しくて白く、ほんのり青みがかったて街全体がいかにも希望で満ち溢れているような色をしていた。ホテルは「中村城跡」で、旅行案内所からの道のりは「N.T.T」と「相馬市役所」が並ぶ国道一五号線を歩いて五分程度で着いてしまった。後になって気が付いたがその妙な時間感覚は「夢の時間」にも通ずる。しかしだからと放されるといった具合が長く続いた。後になって気が付いたが、ずっと真っ直ぐ歩き、母校の中学校第一小学校の前に設置されている歩道橋の下をくぐる。実際に歩けば五分程度で着いてしまうほどの距離だが、その道は「夢の時間」の内容に合わせて都合よく伸び縮みした。

僕はいつも小説を読むときは物語の世界に入り込むまでにやや時間がかかるが、この本の場合はそろそろ入り始めたかなと思つてもリズムが変わつて突き放されるといった具合が長く続いた。後になって気が付いたが、そのまま真っ直ぐ歩き、母校の中学校第一小学校の前に設置されている歩道橋の下をくぐる。実際に歩けば五分程度で着いてしまった。後になって気が付いたがその妙な時間感覚は「夢の時間」にも通ずる。しかしだからと放されるといった具合が長く続いた。後になって気が付いたが、ずっと真っ直ぐ歩き、母校の中学校第一小学校の前に設置されている歩道橋の下をくぐる。実際に歩けば五分程度で着いてしまった。後になって気が付いたがその妙な時間感覚は「夢の時間」にも通ずる。しかしだからと放されるといった具合が長く続いた。

僕はいつも小説を読むときは物語の中盤を過ぎ、そろそろ終盤に差しかかるうとしているあたり、主人公の「私」が友人の「真由子」と二人で、自分たちが通う大学の近くに住むある人物の家を探すシーンがある。

僕は布団に寝転びながらこのシーンを読んだ。寝転びながらも両足はどこかの石畳の上にあつた。真由子が小さく飛び跳ねると同時に僕の身体もほんの少しだけ宙に浮かび、程なくして石畳の上に着地すると自分の体重を両足に感じた。それが入り込んだ瞬間だった。僕は友人の「あなたにとても似ている『シユガータイム』という世界に入りました。真由子が胸の奥に染み込んで息苦しかった。街の輪郭が熱い空気が胸の奥に染み込んでいた。街全体が熱の幕にすっぽり包まれていた。呼吸するたびに、ずつと気にかけながら読んだ、そのせいか読み終えた時はひどく疲れていた。何かを期待していたのかもしれないし、何かに畏れていたのかもしれない。しかし結局わかつたのは僕と彼女はこれからもずっと友人のままだろうということくらいだった。

佐藤豊（さとう・ゆたか）

福島県相馬市生まれ。グラフィックデザイナー。幼い頃は野球選手に憧れたが持病の喘息が悪化し長期入院を余儀なくされ断念。病院に併設された学校で若い美術教師にシュルレアリズムの絵画集を見せられて感銘を受ける。



伊藤眸（いとう・ひとみ）

新潟県新発田市生まれ。イラストレーター。東北芸術工科大学 建築環境デザイン学科を卒業後、各地域でのフィールドワークや日々の暮らし、ファッション、演劇など、様々な分野でイラストレーションの制作を行っている。

文：佐藤豊、イラストレーション：伊藤眸



デザイン／菅野 恵

風と花と vol.1

震災から6年を経た、荒浜の風景と記憶 文／高山智行

のどか

長閑な田園風景が広がる道をひたすら東へ車を走らせる。

県道10号亘理塩釜線を越え約40ヘクタールの広大な土地へ。

重い門扉を開けてかつては校庭だった場所に車を止める。

迎えてくれるのはスズメ、ムクドリ時々キツネ。

姿は見えないがカッコウの鳴き声も聞こえる。

「震災遺構 荒浜小学校」

今春からの新しい職場。

震災前、仙台市若林区荒浜は、市内唯一の海水浴場として年間約4万人の海水浴客が訪れ賑わっていた海辺の集落である。

半農半漁の暮らし、お裾分けは当たり前。約2,200人、800世帯が暮らしていた。

2011年3月11日、海辺の集落は家々の跡形だけを残してその殆どが流された。

唯一残ったのは320名の命を救った荒浜小学校。

あの日から子供たちの声が響くこともなく静かに時を刻んだ小学校は、

震災から7年目の今年4月30日に震災遺構として一般公開を迎えた。

開館から2ヶ月、来館者数は2万人を超えた。震災後これほど多くの人が訪れるのは荒浜地区としても初めてのことだ。

遠くは沖縄、海外からも。

然るべき場所が開かれれば人の意識や関心が向くことを日々感じている。

震災後よく耳にする「復興」や「希望」のように「風化」も便利な言葉に思える。

仮に風化が忘れることなのだとあっても、忘れなくては前に進むことが難しい場合もある。

「あの日のままの気持ちなら生き続けることは難しかった」と家族を亡くした友人が話していた。

6年という月日は上記に記したような安直な二文字で括るものではなかった。

あの日が大震災の惨禍であることはこれからも変わることはないが、

あの日から始まることは決して悪いことばかりではなかった。

この度、とうほくあきんどでざいん塾さんからお声掛けいただき全3回に渡る荒浜コラムを書くことになった。

コラムを書くなんて初めてのことでの宛名のない手紙を書いているようだが、誰かに届くことを願って拙い言葉を綴ることにする。

あの日からも変わらぬ風が吹く海辺の街より。



他人のふんどしで相撲をとる

文／足立千佳子

コミュニティカフェ「うれしや」の
小商いシステム

他人のふんどしで相撲をとる。

ことばづらは、あまりよろしくない。
しかし、いわゆる「プロデュース業」は、
他人さまの才能あってこそその稼業だ。

仙台の新寺にひつそりと佇むコミュ
ニティカフェ「うれしや」。

私はこの店の店主……も仕事のひとつ。本業はまちづくりワークショップの
ファシリテーターというなんとも訳の
分からぬものだ。本業の仕事の一環と
してコミュニティカフェも運営している
のだが、こここの営業形態が自画自賛だ
が面白い。

不定期営業。イベント開催時ののみの

オープン。イベントはFacebookのみの告
知。完全予約制。イベントは店主自ら腕
を振るうお食事会もあるが、そのほ
とんどはもともとは「うれしや」のお客
様だった方が主宰となり、手づくりグッ
ズの販売や、ワンドイカフェ、ヨガ、コーチ
ング、ママと赤ちゃんの集いの場など、多
種多様なイベントが繰り広げられる。

単独でのイベント開催もあるが「う
れしや」やならではといふ特徴は店主
チカコによる「コラボ」の采配があるこ
と。手づくり作家さんたち数人にお声
をかけてミニマルシェを開催してもら
い、さらに同日、イス6脚のカウンターの
みの喫茶コーナーではワンドイカフェを
開催してもらう……喫茶コーナーと、そ
の隣にある4畳半と6畳の和室コー
ナーには、出店者だけでもギュウギュウ
になり、さらに、それぞれのお客様がご
来店くださり、そこで交流の輪が広
がっていく。また今度開催しよう、次は
あの人にも声をかけよう、と、イベント
が終わるころには次の企画が自然と出
来上がっている。

オーブン。イベントはFacebookのみの告
知。完全予約制。イベントは店主自ら腕
を振るうお食事会もあるが、そのほ
とんどはもともとは「うれしや」のお客
様だった方が主宰となり、手づくりグッ
ズの販売や、ワンドイカフェ、ヨガ、コーチ
ング、ママと赤ちゃんの集いの場など、多
種多様なイベントが繰り広げられる。

後一ヶ月間ずつ、あわせて2ヶ月間開催
している。これは、「うれしや」の誕生を
お客様にお祝いしてもらうというもの
だ。Facebookでよびかけ、さまざまなもの
ベントをお客様に自主開催していくだ
き、その売り上げのバックマージンを収
めていただくというシステムだ。この企
画だと、店主チカコが把握しきれていな
い隠れた才能が表になってくるので、「う
れしや」のイベントの種類に深みが出る
のが、ありがたい。

今年の5周年記念イベント月間では、
藍染めワークショップが始まったり、
珈琲マスターが二人誕生したり、マル
シエが生まれたり、と、6年目のコンテ
ンツの充実につながる動きがみられた。
まさに、他人のふんどしで相撲をとっ
ていい状態だ(笑)。

他人さまのふんどしが「使える!」
と目をつけ、拝借して、「うれしや」とい
う土俵で楽しい相撲をとらせていただ
き、その懸賞金はしつかりとふんどし

毎年春先は「うれしや」周年おめで
とうイベント」をオープニング日の前
後一ヶ月間ずつ、あわせて2ヶ月間開催
している。これは、「うれしや」の誕生を
お客様にお祝いしてもらうというもの
だ。Facebookでよびかけ、さまざまなもの
ベントをお客様に自主開催していくだ
き、その売り上げのバックマージンを収
めていただくというシステムだ。この企
画だと、店主チカコが把握しきれていな
い隠れた才能が表になってくるので、「う
れしや」のイベントの種類に深みが出る
のが、ありがたい。

の持ち主様に還元し、ちょっとだけおこ
ぼれもいただく。なんて良心的な小商
いシステムなんだろう(笑)。

「うれしや」場所は、そういうわけで
立ち寄りいただければ幸いだ。最初は
桟敷席でのお客様もいつのまにか四股
名を持つようになるかもしれない。



デザイン／菅野恵

A子・二五歳・アーティスト

ホクジニ村

漢が住む村

田舎近二の村に引越しして
きました。おじいちゃんとい
いろとこさなはあります。が、とも静かで
莫角らしさあります。この村に住む大半は、うつて
感じていることは、ここが当たりと判別がもろい
ということです。

先日、この村の看板書きの仕事をしましたが
給料が並んでいたんです。そのときは手渡された
のが地域に残る大手スマーのレジ袋(元)に入れた
野菜たち。そして手作りのキルナリの漬け物。
手作りこんにゃく。

米や野菜は
お金と同等に
扱われている
ことです。

かわいいよ

対価がしりとり比例して
いるのがはさておき、この村の方々はこれを当たりと
こととして生活を営んでいます。



米ニ儀で
十万円...

きっと換算すると約三千円でしょ? が、得なんか損なんか

正直わかりません。

- ・からしだけ
- ・ひょうたけ
- ・大量の手作り漬け物
- ・おあきほ手作りこんじら

ありがとうございます~
これ持っていって

あ、えういえ。

私、この木で車を販売しています
けど車のことをあまり詳しくないので父に

ついてきてもらつたんですね。この車を販売あうと
決めたあと父が言いました。

すこしまたくんねえか。米ニ儀もつくから~

返答は「しようがねえすねえ~」。

すごい。すごすぎる。まさしく、ね。

米ニ儀で約十万円もや安くなつたんですよ。

れど、考えてみたんですね。この木には地蔵通貨
として田物々交換口が成り立つて、いろんなのがて

士事の目的で、ひとつは生計のためにするもの、たゞ
思ふんです。でもこの木に住んでいると
嫌でも頭に浮かんでしまうんですよ。
おへきを稼ぐつてなんだろ~って。

「士事」の目的で、ひとつは生計のためにするもの、たゞ

すが、すごくあります。まさに通貨。

車のことをあまり詳しくないのに父に

ついてきてもらつたんですね。この車を販売あうと
決めたあと父が言いました。

すこしまたくんねえか。米ニ儀もつくから~

返答は「しようがねえすねえ~」。

すごい。すごすぎる。まさしく、ね。

米ニ儀で約十万円もや安くなつたんですよ。

れど、考えてみたんですね。この木には地蔵通貨
として田物々交換口が成り立つて、いろんなのがて

士事の目的で、ひとつは生計のためにするもの、たゞ

すが、すごくあります。まさに通貨。

車のことをあまり詳しくないのに父に

ついてきてもらつたんですね。この車を販売あうと
決めたあと父が言いました。

すこしまたくんねえか。米ニ儀もつくから~

返答は「しようがねえすねえ~」。

すごい。すごすぎる。まさしく、ね。

米ニ儀で約十万円もや安くなつたんですよ。

れど、考えてみたんですね。この木には地蔵通貨
として田物々交換口が成り立つて、いろんなのがて



1月生まれ



2月生まれ



3月生まれ



4月生まれ



5月生まれ



6月生まれ



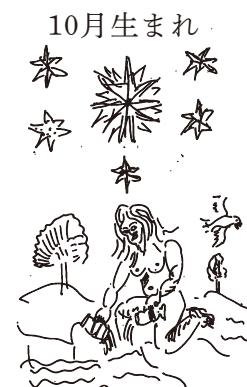
<近い未来>スタート前の準備期間です。新しいことをはじめるためには何かが必要。技術、道具、材料…。吟味してください。<キーワード>企画。コミュニケーション。はじまり。1.<メッセージ>新たな取り組みには確かな情報が必要です。スタート前の確認作業もおこたらずに。時を待って。



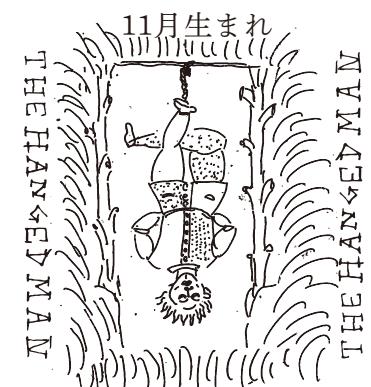
7月生まれ



8月生まれ



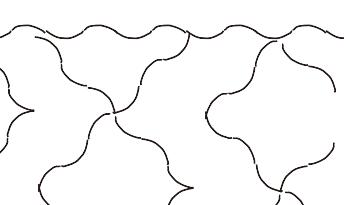
9月生まれ



10月生まれ



11月生まれ



12月生まれ



THE ROSEBUD TAROT READING

特集 SPECIAL FEATURE

・及川恵子「おいかわけい」

1982年宮城県仙台市生まれ。

フリークリエイター・編集者。大学で建築を

学んだのち、地元タウン情報誌の編集な

どを経て現在に至る。人との出会いと、

未知のものに出合うこと、そして旅と

音楽が好き。かっこいい文章、書きます。

・ホンダカク

「星あかり」の名前で、主に国際誌の

アートディレクションなどを手がける。昨

年、高校卒業以来のリターン。奈良時代以前の東北に興味を持ち調査中。東京俱楽部のショニア連中と一緒に仕事を

どの経験アリ。ビンと来た方、「あきな

いしませんか?」

・伊藤典博「いとうのりひひと

「1」仙客万来「人をつなぎ場を創るぞ

て仙台の文化」

1975年宮城県生まれ。フリー

ジャーナリスト。新聞記者時代に主に

取材した政治や医療

東日本大震災など

をフリーライターの立場で、人に重点を置いて取材。現在は「震災の経験」を主要

テーマに、ネバール地震の被災地にも足を運ぶ。

・合同会社スカイスター

代表デザイナー

・平間真太郎「ひらま・しんたろう」

1975年宮城県生まれ。フリー

ジャーナリスト。新聞記者時代に主に

取材した政治や医療

東日本大震災など

をフリーライターの立場で、人に重点を置いて取材。現在は「震災の経験」を主要

テーマに、ネバール地震の被災地にも足を運ぶ。

・合同会社スカイスター

代表デザイナー

・伊藤典博「いとうのりひひと

「2」仙客万来「人をつなぎ場を創るぞ

て仙台の文化」

1975年宮城県生まれ。フリー

ジャーナリスト。新聞記者時代に主に

取材した政治や医療

東日本大震災など

をフリーライターの立場で、人に重点を置いて取材。現在は「震災の経験」を主要

テーマに、ネバール地震の被災地にも足を運ぶ。

・合同会社スカイスター

代表デザイナー

・平間真太郎「ひらま・しんたろう」

1975年宮城県生まれ。フリー

ジャーナリスト。新聞記者時代に主に

取材した政治や医療

東日本大震災など

をフリーライターの立場で、人に重点を置いて取材。現在は「震災の経験」を主要

テーマに、ネバール地震の被災地にも足を運ぶ。

・合同会社スカイスター

代表デザイナー

・伊藤典博「いとうのりひひと

「3」仙台市だって悩んでいます。

1982年宮城県生まれ。仙台市在住。

高校卒業後、地元の会社で就職。

その後、独立して自ら企画・制作・運営する

会社を立ち上げる。

・鈴木瑞恵「すずき・るい

1987年仙台市生まれ。編集者。

東北芸術工科大学卒業後、デザイン会社

で勤務。その後、独立して自ら企画・制作・運営する

会社を立ち上げる。

・鈴木瑞恵「すずき・るい

「4」外国人の視点から地域と出会う。

1977年仙台市生まれ。株式会社

コミューナ取締役/マーケティング

連載 SERIES

その他 OTHERS

どうばくあきんどでざいん塾

の「デザインなどを手がけている。ざくざく」とした内容を形にして得意。目指すは見た人が思わず「やり」としてしまうようなものづくり。好きなものはパンとグラノーラと眼鏡と靴。

・カサマのマサカ

1977年仙台市生まれ。株式会社

コミューナ取締役/マーケティング

ディレクター。地域産品の調査研究や商品展開の戦略策定を行ふ。手堅い経営理論を駆使するスムーズだが、全員で感じ、頭で考え、心で判断する「がモットー」。

・笠間健一「かさままたける」

1977年仙台市生まれ。株式会社

コミューナ取締役/マーケティング

ディレクター。地域産品の調査研究や商品展開の戦略策定を行ふ。手堅い経営理論を駆使するスムーズだが、全員で感じ、頭で考え、心で判断する「がモットー」。

・松井健太郎「まついけんたろう」

1977年福島県生まれ。グラフィックデザイナー。2011年11月震災を機に仙台へ移住。現代美術とビジネスの両方の現場で、問い合わせて応答を引き出す

代理。2011年11月震災を機に仙台へ移住。現代美術とビジネスの両方の現場で、問い合わせて応答を引き出す

・TAD GALLERY

1976年北海道生まれ。株式会社

コミューナ取締役/マーケティング

ディレクター。地域産品の調査研究や商品展開の戦略策定を行ふ。手堅い経営理論を駆使するスムーズだが、全員で感じ、頭で考え、心で判断する「がモットー」。

・ROSEBUD TAROT

1980年福島県生まれ。グラフィックデザイナー。2011年福島県生まれ。グラフィック

ディレクター。地域産品の調査研究や商品展開の戦略策定を行ふ。手堅い経営理論を駆使するスムーズだが、全員で感じ、頭で考え、心で判断する「がモットー」。

・根朋友「ねじゆうめいぶ」

1987年東京都生まれ。デザイナー。

「民俗」の延長として「デザイン」を思考。家業「台所草木染め結工房」で仙台市のブランド開発、日用品の設計など多様な領域でコンセプトマイキング

・吉田勝信「よしだ・かつぶ」

1987年東京都生まれ。デザイナー。

「民俗」の延長として「デザイン」を思考。家業「台所草木染め結工房」で仙台市のブランド開発、日用品の設計など多様な領域でコンセプトマイキング

・鈴木瑞恵「すずき・るい

1987年仙台市生まれ。編集者。

「1」仙客万来「人をつなぎ場を創るぞ

て仙台の文化」

1982年宮城県生まれ。仙台市在住。

高校卒業後、地元の会社で就職。

その後、独立して自ら企画・制作・運営する

会社を立ち上げる。

・鈴木瑞恵「すずき・るい

「2」東北に生きる人と、かたち

1982年仙台市生まれ。編集者。

東北芸術工科大学卒業後、デザイン会社

で勤務。その後、独立して自ら企画・制作・運営する

会社を立ち上げる。

・岡部順子「あべじゅんこ」

1982年宮城県生まれ。デザイン会社

で勤務。その後、独立して自ら企画・制作・運営する

会社を立ち上げる。

・白柳桜子「しらやなぎ・さくらこ」

1982年茨城県生まれ。建築職の行政職員。

いろんな人のことや暮らしぶりに触れてみたい。人やもの、こと書き

を書いたフリーべーバーをつくりてい

る。趣味はのんびりすること、美味しいものを食べること。

・白柳桜子「しらやなぎ・さくらこ」

1982年茨城県生まれ。建築職の行政職員。

いろんな人のことや暮らしぶりに触れてみたい。人やもの、こと書き

を書いたフリーべーバーをつくりてい

る。趣味はのんびりすること、美味しいものを食べること。

・白柳桜子「しらやなぎ・さくらこ」

1982年茨城県生まれ。建築職の行政職員。

いろんな人のことや暮らしぶりに触れてみたい。人やもの、こと書き

を書いたフリーべーバーをつくりてい

る。趣味はのんびりすること、美味しいものを食べること。

・菅野恵「すがのめぐみ」

1982年宮城県生まれ。グラフィックデザイナー。小さな頃から絵を描くことが好きで、デザインの道へ。小さい頃のワーク感を持って仕事をしていきたいと企画や編集も手がける。うれしいのは、ボディコピーパーがうまく書けたときと、小難しい話のおもしろさを伝えられたとき。

・大林紅子「おおばやしこ」

1982年茨城県生まれ。建築職の行政職員。

いろんな人のことや暮らしぶりに触れてみたい。人やもの、こと書き

を書いたフリーべーバーをつくりてい

る。趣味はのんびりすること、美味しいものを食べること。

コーディネーター

・長内綾子「おさないあやこ」

1976年北海道生まれ。

Surivivart主宰。本誌編集長

代理。2011年11月震災を機に仙台へ移住。現代美術とビジネスの両方の現場で、問い合わせて応答を引き出す

場の設計、およびキュレーションを行っている。

・松井健太郎「まついけんたろう」

1976年福島県生まれ。グラフィック

ディザイン事務所BLUMI代表。工

ディレクションデザイナー。建築プロダクト・グラフィックなど分野にとらわれないもののづくりを中心的に地域とクオリティアートを結ぶ活動も展開中。

・アンスラント

1984年宮城県石巻市生まれ。大手工芸事務所BLUMI勤務。さまざまなボランティア活動への参加を経て現職。

・深村千夏「ふかむらちか」

1984年宮城県石巻市生まれ。大手工芸事務所BLUMI勤務。さまざまなボランティア活動への参加を経て現職。

・TRUNKの受付業務を担当。年が

TRUNKの受付業務を担当。年が

年が

[お知らせ]

クリエイター 募集説明会 開催!!

平成29[2017]年度・冊子制作、 第2期協働クリエイター募集説明会開催!

とうほくあきんどでざいん塾は、平成29(2017)年度にフリー
マガジン『とうほく あきんど でざいん』を年3回発行します。
その名の通り、「とうほく」「あきんど」「でざいん」に関する
テーマを幅広く扱うべく、現在は1号目となる夏号(8月上旬)
を鋭意制作中です。

このたび、2号目となる秋号の制作にあたり、記事の企画立案
から入稿までの冊子制作に協働いただけるクリエイター
を募集します。

こんな記事をつくりたい、あんなデザインにチャレンジしたい、といったアイデアをお持ちの方は大歓迎!まずは説明会へのご参加を、心よりお待ちしております。

概要

- 仙台市域在住のクリエイター*であれば、どなたでも応募可能(学生可)。ただし、TRUNKで隔週行われるミーティングに極力参加できる方に限ります。
- 制作謝金あり(額面は作業内容により応相談)
- 応募に際し、説明会への参加が必須です。必ずご予約のうえ、ご参加ください。

*ライター、エディター、カメラマン、デザイナー、イラストレーターなど、冊子制作に必須の職種

説明会 [要予約]

日時 2017年8月10日(火)19:00-20:30

会場 TRUNK | CREATIVE OFFICE SHARING

〒984-8651 仙台市若林区卸町2-15-2 卸町会館5F

内容 あきんど塾からの説明、質疑応答

予約 メールに、参加者の氏名・所属先・年齢・携帯電話番号・職種を明記のうえ、info@tohokuakindodesign.jp宛に送信してください。

持ち物 返却不要の過去実績がわかるポートフォリオ(A4サイズ5枚程度)

応募締切

2017年8月18日(金)18:00

応募からの流れ

8月10日(木) 説明会参加[必須]

8月18日(金) 応募用紙提出締切(応募用紙は説明会参加者にのみメールで送付)

8月23日(水) あきんど塾より結果の連絡

8月30日(木) 第一回編集会議

以降、隔週月曜日開催(19~21時)の公開ミーティング&制作を経て、秋号は11月中発行予定

● 11月にも説明会を開催予定。詳細は確定次第、あきんど塾のwebサイトで告知します。

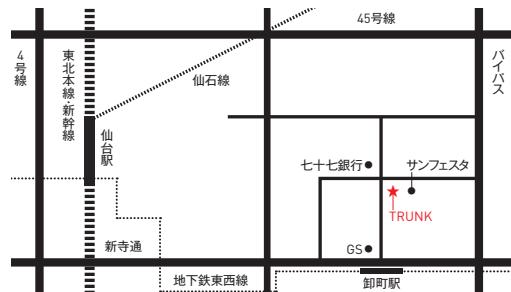
会場アクセス

TRUNK | CREATIVE OFFICE SHARING

〒984-8651 仙台市若林区卸町2-15-2 卸町会館5F

● 仙台市地下鉄東西線「卸町駅」下車、北1出口より徒歩6分

● お車の場合は、建物隣接のサンフェスタ駐車場をご利用ください



お問い合わせ

とうほくあきんどでざいん塾(担当:山口、深村)

〒984-8651 仙台市若林区卸町2-15-2 卸町会館5F TRUNK内

Tel: 022-235-2161(代表)/022-237-7232(直通)/Fax: 022-284-0864

E-mail: info@tohokuakindodesign.jp / http://tohokuakindodesign.jp

公開編集会議開催日程[基本は月曜19:00~、2週に1回ベース]

会場 TRUNK | CREATIVE OFFICE SHARING

日程 9月:11日、25日 | 10月:10日(火)、23日 | 11月:6日、20日

会議参加希望の方は、メールタイトルを「公開編集会議参加希望」とし、以下の内容をメール本文に明記のうえ、各開催日の前日までにinfo@tohokuakindodesign.jpまでメールを送信してください。

●氏名(ふりがな)/●参加を希望する日程/●職業

